

NETWORK VIDEO RECORDER

# TS5-R4P

カメラ最大接続数4台

# TS5-R8P

カメラ最大接続数8台



TS5-R4P



TS5-R8P

# 目次

## はじめに

特長	3
使用環境	3
商標について	3
各部の名称	5

## 操作する

操作画面	7
メインメニュー	8
サイドメニュー	9
録画データを再生する	12
録画データ再生メニュー	12
プレイバック検索	13
スマート検索	15
Webブラウザから操作する	16
カメラ映像画面	18
表示機能	18
操作	18

## 設定する

設定画面	20
ネットワーク	21
ネットワーク設定	21
ダイナミックDNS設定	23
IPフィルター	23
SNMP	24
HTTPS	24
カメラ	25
オーディオとビデオ	25
POE	32
スケジュール	34
録画スケジュール	34
AIイベントスケジュール	37
イベント	39
E-Mail設定	39
E-Map設定	39
カメライベント設定	40
システムイベント設定	42
ログ	43
外部アラーム	43

## 設定する つづき

メンテナンス	44
ディスプレイと言語	44
ユーザーアカウント	45
システム	46
時間と日付	47
ファームウェア更新	48
ハードドライブ	49
ジョイスティック	49
RS485	49

## カメラ検索

カメラを検索する	50
IP Installer	51
モード	52

## アルバム

アルバムを見る	54
---------	----

## バックアップ

バックアップする	55
自動バックアップ	55
手動バックアップ	56

## スマートフォンで映像を見る

スマートフォンの設定をする	57
表示内容と操作方法(iPhone)	59
表示内容と操作方法(Android)	60

## 必要なとき

規格表	61
-----	----

## 特長

- 高画質なカメラに対応し、高画質で録画  
最大800万画素(解像度3840×2160)の画質で録画できます。
- ハードディスク容量の選択が可能  
ニーズに合わせてハードディスク容量(2TB、4TB、6TB、8TB)を選択できます。
- 常時録画だけでなく、スケジュール録画やモーション検知録画にも対応  
カメラ毎にそれぞれの録画方法を組合せて設定できます。
- 複数のカメラ映像を分割表示  
分割表示できますから、TS5-R4Pは最大4台、TS5-R8Pは最大8台のカメラ映像を同時に確認できます。
- 録画データを簡単に検索して再生  
日付や時刻を選ぶことで、録画データを簡単に再生できます。  
スマート検索機能によってモーション検知などの検知箇所だけを検索できます。
- 録画データのバックアップやパソコン再生が可能  
内蔵ハードディスクの録画データをUSB端子に接続したハードディスクやメモリーにバックアップできます。  
バックアップした録画データをパソコンで再生できます。  
●バックアップ用のハードディスクやメモリーは最大2TBまで対応。
- 遠隔での監視や操作が可能  
本機をネットワークに接続することで、本機から離れたところでも、パソコンのブラウザー画面からカメラのライブ映像を見たり、本機の設定を変更したり、PTZに対応したカメラの制御や録画データを視聴したりすることもできます。
- PoE給電に対応  
LANケーブルを使用して電源を給電できますから、電源がない場所でもカメラの設置が可能です。

## 使用環境(2025年6月現在)

ブラウザーで本機の操作を使用するパソコンには、以下の使用環境が必要です。

OS	Windows10、Windows11
ブラウザー	Microsoft Edge

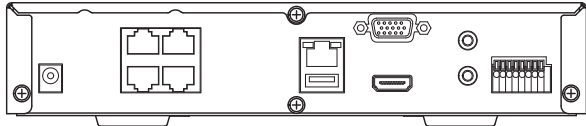
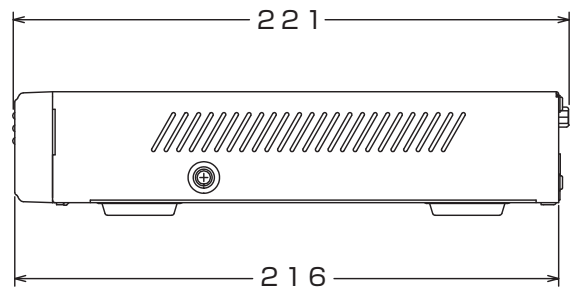
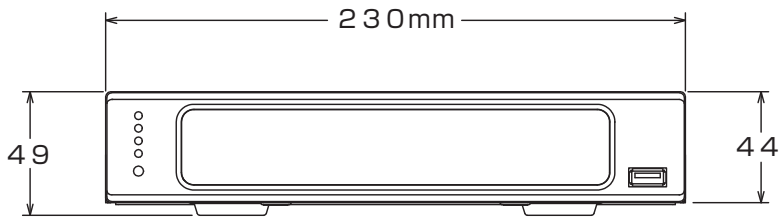
スマートフォンの対応OSには、以下の使用環境が必要です。

iPhone	iOS 9.0以降
ブラウザー	Android 5.0以降

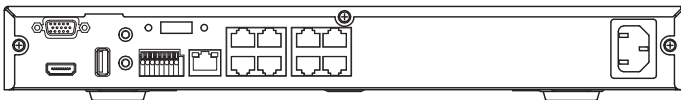
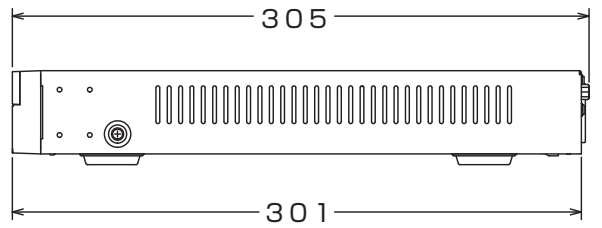
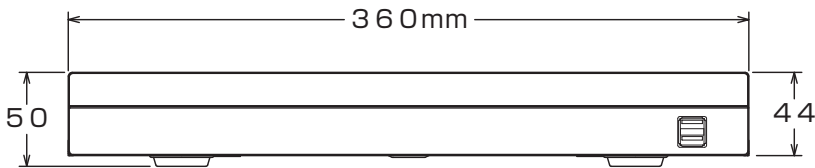
## 商標について

- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iPhone、iPadは、Apple Inc.の商標です。
- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GoogleおよびGoogleロゴ、Android™は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

## TS5-R4P



## TS5-R8P



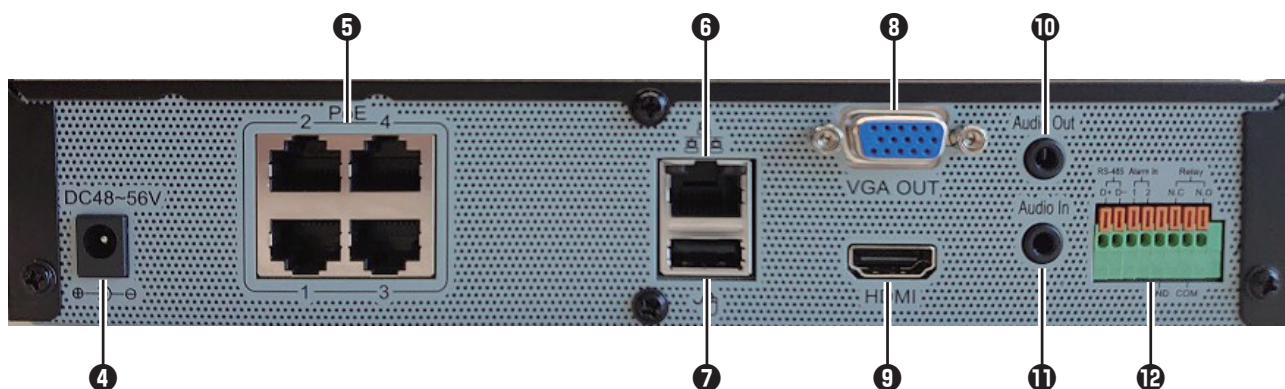
## TS5-R4P

### 前面



- ① カメラ表示灯  
カメラが接続されているときに点滅します。
- ② アラーム表示灯  
アラームが発生すると点灯します。
- ③ USB端子  
本機を操作するマウス(付属品)またはバックアップ用ハードディスクを接続します。

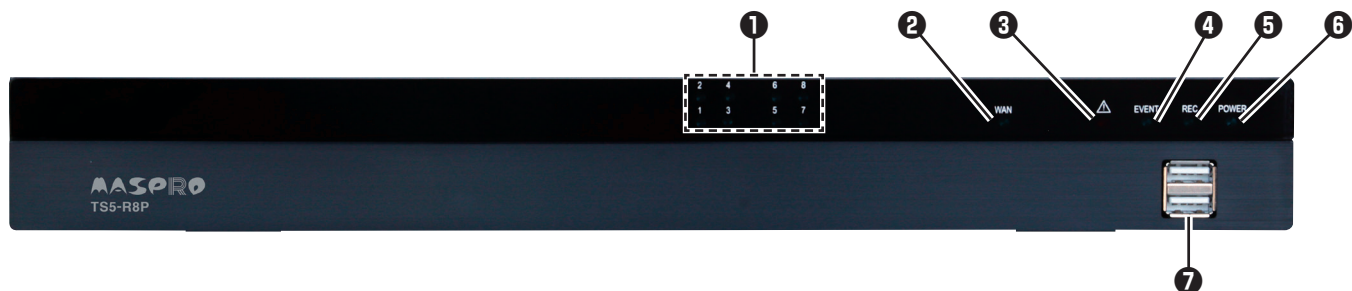
### 背面



- ④ 電源端子  
ACアダプター(付属品)のプラグを接続します。
- ⑤ 映像入力端子(PoE給電)  
カメラの映像端子を接続します。(RJ-45端子)
- ⑥ LAN端子  
ネットワークのLANケーブルを接続します。
- ⑦ USB端子  
本機を操作するマウス(付属品)またはバックアップ用ハードディスクを接続します。
- ⑧ VGA出力端子  
モニターに接続します。(D-SUB 15ピン)
- ⑨ HDMI出力端子  
モニターに接続します。
- ⑩ 音声出力端子  
本機では使用しません。
- ⑪ 音声入力端子  
本機では使用しません。
- ⑫ 接点入出力端子  
本機では使用しません。

## TS5-R8P

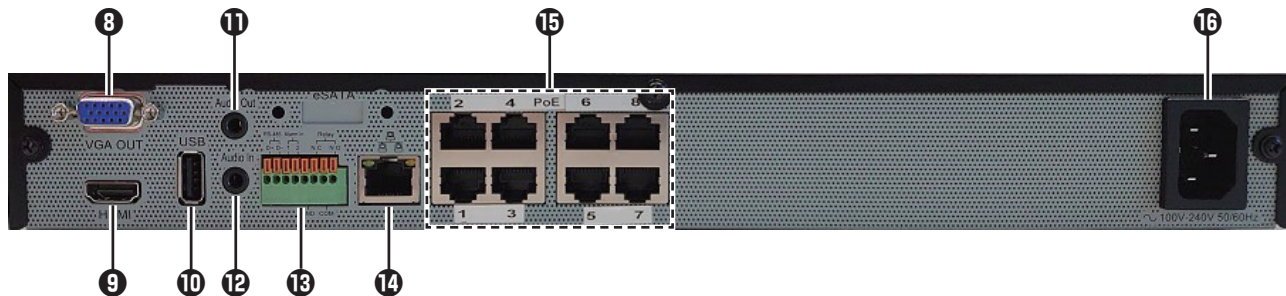
### 前面



- ① カメラ表示灯**  
カメラが接続されているときに点滅します。
- ② ネットワーク表示灯**  
ネットワーク通信中に点滅します。
- ③ アラーム表示灯**  
アラームが発生すると点灯します。
- ④ イベント表示灯**  
イベントが発生すると点灯します。

- ⑤ 録画表示灯**  
録画機能が作動すると表示します。  
●スケジュール録画:点滅、手動録画:点灯
- ⑥ 電源表示灯**  
本機が起動すると点灯します。
- ⑦ USB端子**  
本機を操作するマウス(付属品)またはバックアップ用ハードディスクを接続します。

### 背面



- ⑧ VGA出力端子**  
モニターに接続します。(D-SUB 15ピン)
- ⑨ HDMI出力端子**  
モニターに接続します。
- ⑩ USB端子**  
本機を操作するマウス(付属品)またはバックアップ用ハードディスクを接続します。
- ⑪ 音声出力端子**  
本機では使用しません。
- ⑫ 音声入力端子**  
本機では使用しません。

- ⑬ 接点入出力端子**  
本機では使用しません。
- ⑭ LAN端子**  
ネットワークのLANケーブルを接続します。
- ⑮ 映像入力端子(PoE給電)**  
カメラの映像端子を接続します。(RJ-45端子)
- ⑯ 電源端子**  
電源プラグ(付属品)を接続します。

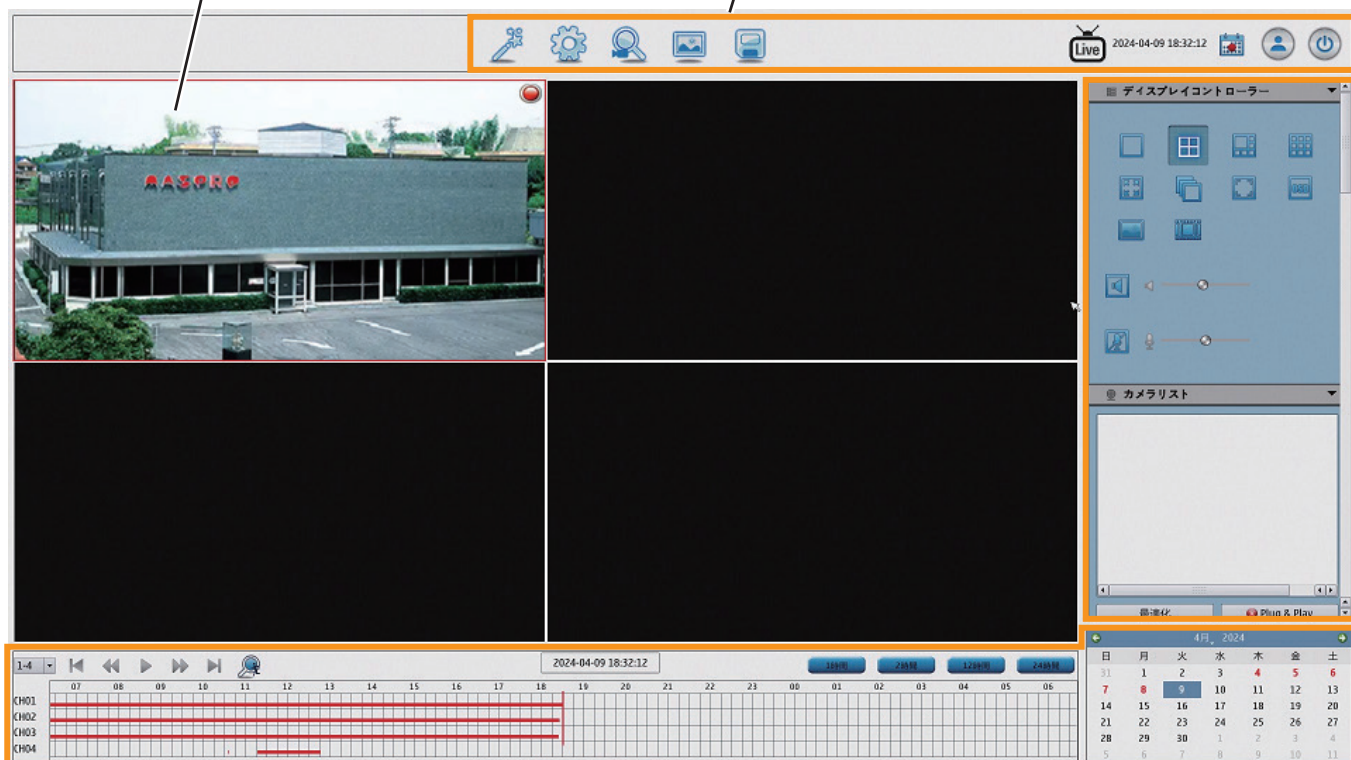
- 本機(レコーダー)の操作やカメラ映像の確認ができます。
- カメラと同じネットワークに接続していれば、パソコンのWebブラウザからも、本機の操作やカメラ映像の確認ができます。(詳細は「Webブラウザから操作する」(p.16)をご覧ください。)

### 《操作画面》

- 画面はTS5-R8Pのものです。

カメラ映像画面 (p.18)

メインメニュー (p.8)



録画データ再生メニュー (p.12)

サイドメニュー (p.9)

- サイドメニューの上でマウスを右クリックすると、ショートカットメニューが表示され、チェックを外すことで、必要がない項目を非表示にすることができます。

## メインメニュー



### ① 初期設定アイコン

初期設定を行います。

●詳細は取扱説明書(初期設定編)をご覧ください。

### ② 設定アイコン

ネットワーク、カメラ、スケジュール、イベント、メンテナンスの設定をします。

●詳細は「設定画面」(p.20)をご覧ください。

### ③ カメラ検索アイコン

本機からIPカメラを検索してカメラの設定をします。

●詳細は「カメラを検索する」(p.50)をご覧ください。

### ④ アルバムアイコン

本機に保存されているスナップショットを見たり、USBにコピーしたりすることができます。


●詳細は「アルバムを見る」(p.54)をご覧ください。

### ⑤ バックアップアイコン

録画ファイルを自動的にバックアップするか手動でバックアップするかを設定をします。

●詳細は「バックアップする」(p.55)をご覧ください。

### ⑥ スケジュールアイコン

スケジュールアイコンを選択すると、手動録画アイコン  に変更され、接続されているカメラすべての手動録画を開始します。

手動録画アイコンを選択すると、スケジュールアイコン  に変更され、スケジュールに従って録画動作をします。

### ⑦ ログアウトアイコン

本機からログアウトします。

### ⑧ 電源アイコン

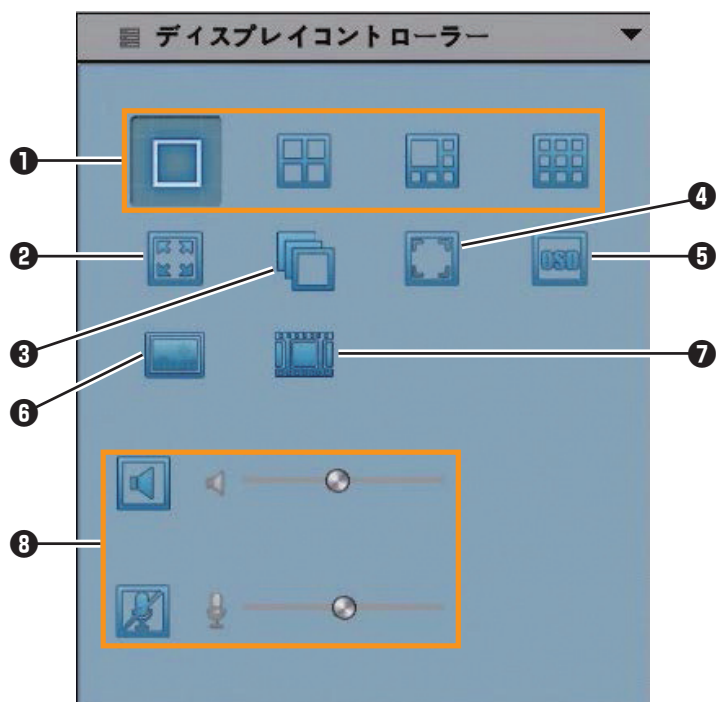
本機を再起動またはシャットダウンするかを選択します。

## サイドメニュー

サイドメニューの右側にあるスクロールバーで上下して、各項目を表示します。

- サイドメニューの上でマウスを右クリックすると、ショートカットメニューが表示され、チェックを外すことで、必要がない項目を非表示にすることができます。

### ディスプレイコントローラー



●画面はTS5-R8Pのもので。

- 1 カメラの設置数に応じて画面を1画面、4画面、6画面、9画面から選択します。(TS5-R4Pは1画面、4画面)
- 2 赤枠で選択されているカメラ映像を全画面表示します。
  - 全画面表示を終了する場合は、右クリックして全画面のチェックを外してください。
- 3 カメラが複数台設置されている場合に、カメラ映像画面を10秒ごとに切替えます。
  - 《例》4台カメラが設置されている場合 (TS5-R4P)
    - 1画面表示: カメラ番号1から4までの表示を繰り返します。
    - 4画面表示: 作動しません。
  - 《例》8台カメラが設置されている場合 (TS5-R8P)
    - 1画面表示: カメラ番号1から8までの表示を繰り返します。
    - 4画面表示: カメラ番号1から4とカメラ番号5から8の表示を繰り返します。
    - 6画面表示: カメラ番号1から6とカメラ番号4から8の表示を繰り返します。
    - 9画面表示: 作動しません。
- 4 カメラ映像画面を実際の縦横比サイズで表示します。
- 5 カメラ映像画面にカメラ番号、カメラ名、ビットレート、フレームレートの情報およびAIエリアを表示します。
  - 詳細は「ディスプレイと言語」(p.44)をご覧ください。
- 6 現在の映っているカメラ映像画面のスナップショットを撮影してアルバムに保存します。
- 7 カメラ映像画面の明るさとコントラストを調整します。
- 8 本機では使用しません。

### カメラリスト

本機に接続されているカメラの一覧を表示します。



- 1 カメラリスト
  - 選択したカメラ番号に選択を切替えます。
    - 1画面表示の時は、選択したカメラ映像に切替え、分割画面の時は、選択したカメラに赤枠を表示します。
- 2 最適化
  - IPカメラの帯域幅を最適化します。
- 3 Plug&Play
  - 本機のWAN側のPlug&Playの有効化と無効化を選択します。
    - 有効化を選択すると、TS5シリーズのカメラは本機のWAN側に接続しても、カメラリスト一覧に表示します。

## PTZコントロール

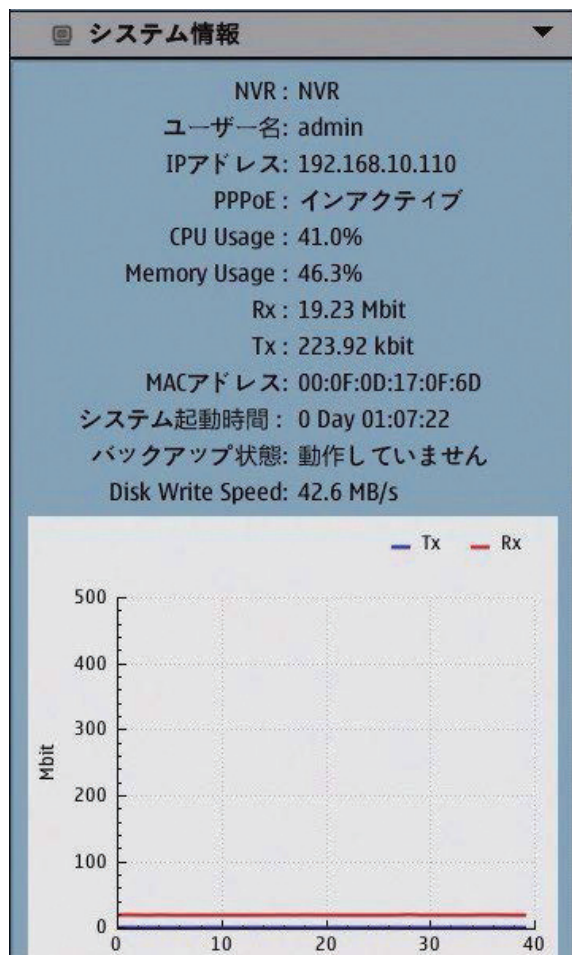
PTZ機能に対応したカメラは、ズームやフォーカスの操作をすることができます。



- ① **ズームアイコン**  
ズームイン/ズームアウトを調整します。
  - ② **マニュアルフォーカスアイコン**  
手動でフォーカスを調整します。
  - ③ **オートフォーカスアイコン**  
ズーム設定状態を維持してフォーカスを自動調整します。
- その他の設定は、本機では使用しません。

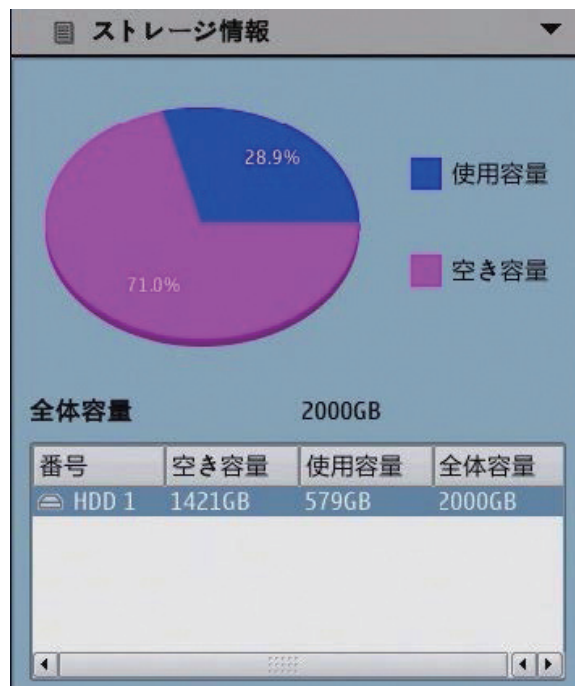
## システム情報

NVR(本機)のシステム情報を表示します。



## ストレージ情報

ハードディスクの情報を表示します。



## ログ

ログ情報を確認する場合に、システム、NVR(本機)、イベントを選択して表示します。



- 「イベント」を選択した場合、任意のイベントログをクリックすると、イベントが発生した時間から録画データが再生されます。
- カメラのCH番号は切りません。  
《例》CH08のイベントログをクリックして録画データを確認する場合は、CH08のカメラ映像画面が視聴できる状態にしてから、イベントログをクリックしてください。
  - ログの詳細については、p.43をご覧ください。
  - イベントログを出力する場合は、「AIイベントスケジュール」(p.37)でスケジュールを有効に設定する必要があります。

## E-Map

本機では使用しません。

## リレー

本機では使用しません。

## デジタル出力

本機では使用しません。

## イージーリンク

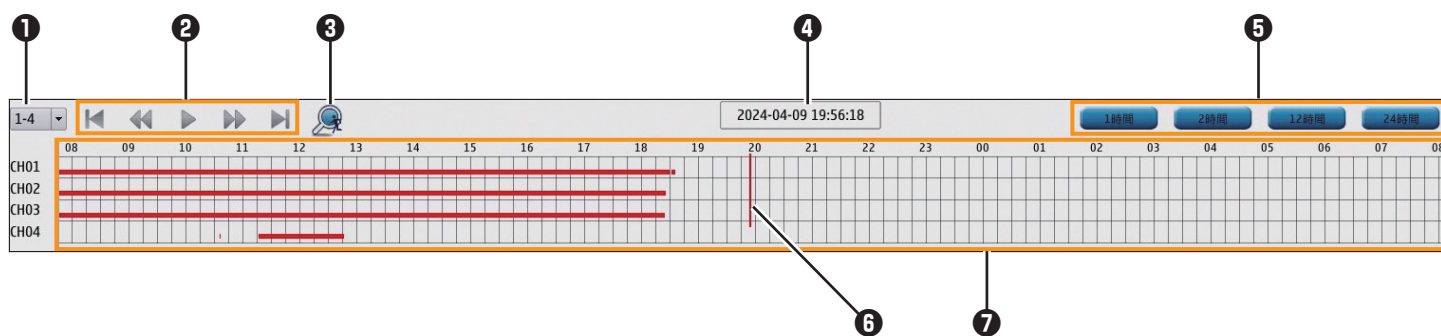
スマートフォンなどから本機を通して、カメラ映像を視聴することができます。



- IPmotionアプリをスマートフォンなどのデバイスにインストールして、イージーリンクIDを入力、またはQRコードをスキャンすることで、IPmotionアプリを通じてカメラ映像を視聴します。
- 詳細は「スマートフォンで映像を見る」(p.57～ p.60)をご覧ください。

**ご注意** IPmotionに本機を登録する場合は、本機が外部ネットワークに接続されていることを確認してください。

## 録画データ再生メニュー



- ① **カメラリスト**  
録画データを表示するカメラ番号を選択します。
- ② **コマ戻し・巻き戻し・再生/一時停止・早送り・コマ送り**  
録画データ再生時に、再生/一時停止・早送り・巻き戻し・コマ戻し・コマ送りの操作をします。
- ③ **プレイバック検索の表示**  
プレイバック検索画面(p.13)を表示します。
- ④ **再生日時**  
録画データ再生時の時間を表示します。
- ⑤ **時間帯表示**  
再生時間帯の表示を、1時間、2時間、12時間、24時間で選択します。
- ⑥ **アンカーライン**  
このラインを起点に録画データを再生します。  
●録画データ再生中にスナップショットを撮影すると、録画データ再生時の過去の時間でアルバムに保存されるため、先頭ページには表示されません。
- ⑦ **再生時間帯**  
再生時間帯を表示しています。

## 録画データの再生

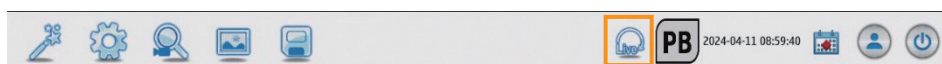
①「録画データ再生メニュー」(上記)の右側にあるカレンダーから、再生したい録画データの日付をクリックします。

4月、2024						
日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

②カメラリスト(上記①)から録画データを表示するカメラ番号を選択します。

③再生時間帯(上記⑦)でマウスの左ボタンを押したまま、マウスを左右に動かして、再生したい時間帯をアンカーラインに合わせてマウスのボタンを離すと、再生を開始します。

●録画データの再生を終了してLIVE画面に戻る場合は、メインメニュー上の  をクリックします



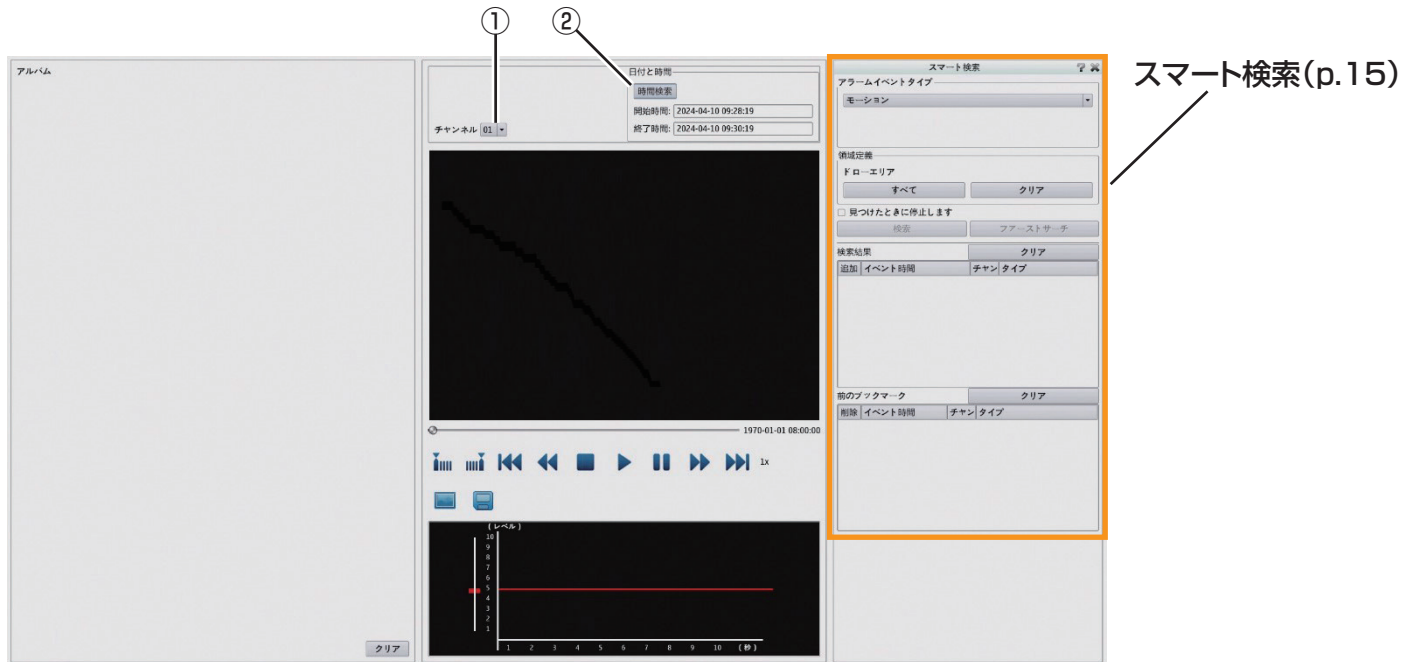
メインメニュー（録画データ再生中）

## プレイバック検索

指定したカメラの録画データを、開始時間と終了時間を設定して再生したり、録画データやスナップショットをバックアップ用ハードディスクに保存したりすることができます。

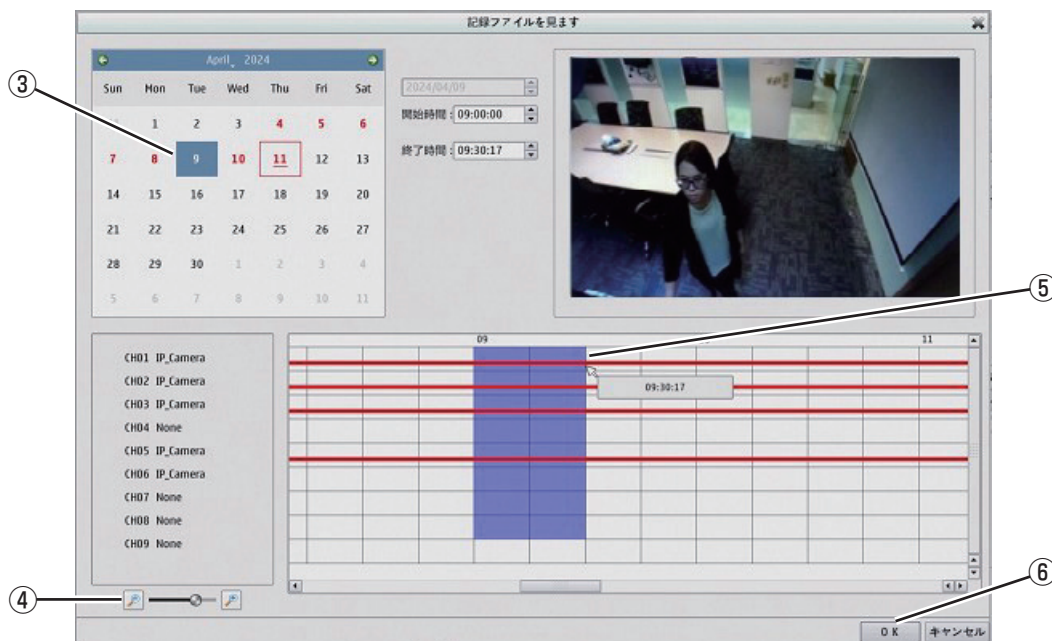
## 録画データの検索

- ① 検索するカメラ番号を設定します。
- ② 「時間検索」をクリックします。
  - 記録ファイルを見ます画面を表示します。



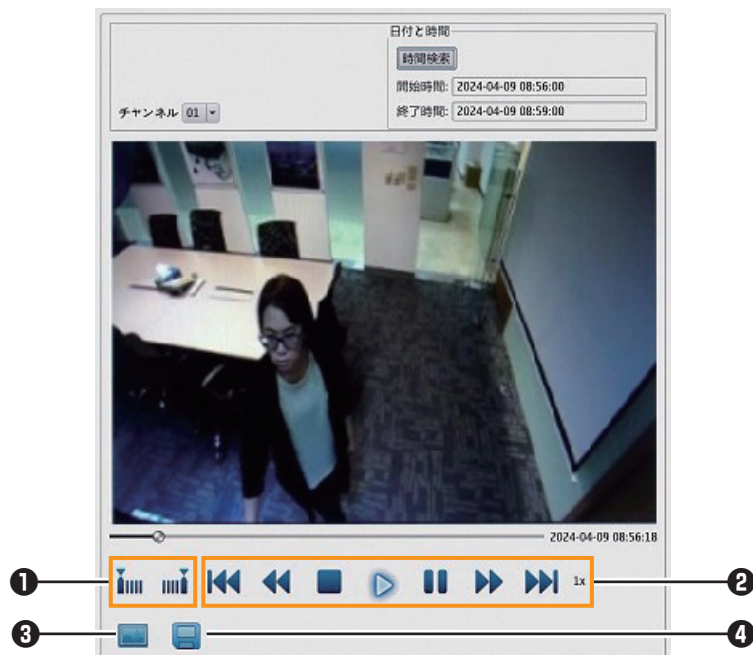
プレイバック検索画面

- ③ カレンダーから再生したい録画データの日付をクリックします。
- ④ 再生時間帯の表示を、3時間、6時間、12時間、24時間から選択します。
- ⑤ 再生開始時間にマウスを合わせて左ボタンを押したまま、マウスを右に動かして再生終了時間でボタンを離して設定します。
- ⑥ 「OK」をクリックして設定を完了します。



記録ファイルを見ます画面

## 設定した録画データの再生・保存



## ① 開始時間・終了時間

録画データを切取って保存する場合に、開始時間と終了時間を設定します。

## ② 再生・一時停止・早送り・巻き戻し

設定した録画データの再生・一時停止・早送り・巻き戻しなどの操作をします。(最大64倍速)

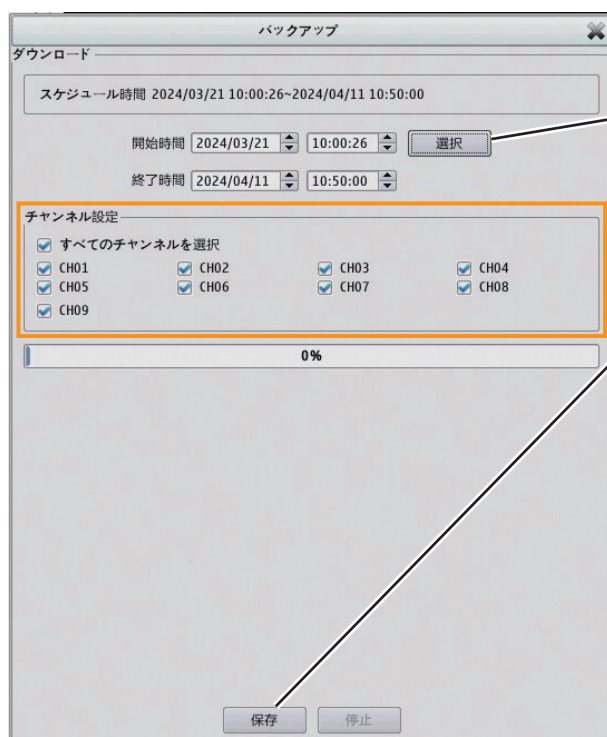
## ③ スナップショット

現在映っている録画映像画面のスナップショットを撮影して、バックアップ用ハードディスクに保存します。

## ④ バックアップ

開始時間・終了時間で設定した録画データを、バックアップ用ハードディスクに保存します。

●バックアップ画面を表示します。



「選択」をクリックすると、記録ファイルを見ます画面を表示します。

バックアップするカメラ番号にチェックを入れて、「保存」をクリックすると、バックアップ用ハードディスクに保存します。

ご注意

バックアップ用ハードディスクに保存した録画データは、本機で視聴することはできません。視聴する場合は、パソコンで再生してください。

## スマート検索

モーション検知した場合に、検索結果に一覧で表示することができます。

### ① アラームイベントタイプ

モーションのみ選択できます。

### ② 領域定義

検知エリアをクリックアンドドラッグで設定します。(青枠内に動きがあった場合に検知します)

すべて：検知エリアを全画面にします。

クリア：設定された検知エリアを消去します。

### ③ 検索

クリックすると、青枠内で検知感度レベルを超えた場合、検索結果に一覧で表示します。

見つけたときに停止します：チェックを入れて検索すると、青枠内で検知感度レベルを超えた場合、1回だけ検索結果に表示して停止します。

- 検索結果に表示されているリストを全て消去する場合は、クリアをクリックします。
- 検索を行なった後に再度検索する場合は、一度スマート検索画面を閉じてから行ってください。

### ④ ファーストサーチ

設定した録画データすべてをサーチして、すべてのエリアで検知した場合にスナップショットを画面左のアルバムの枠に表示します。表示件数を超えた場合は上書きされます。

### ⑤ 前のブックマーク

検索結果に表示された一覧の中で消去したくないリストは、検索結果のリストの追加「+」をクリックして、前のブックマークに登録します。(画面を閉じてでも消去されません)

- 前のブックマークに登録されているリストを全て消去する場合はクリアをクリックします。

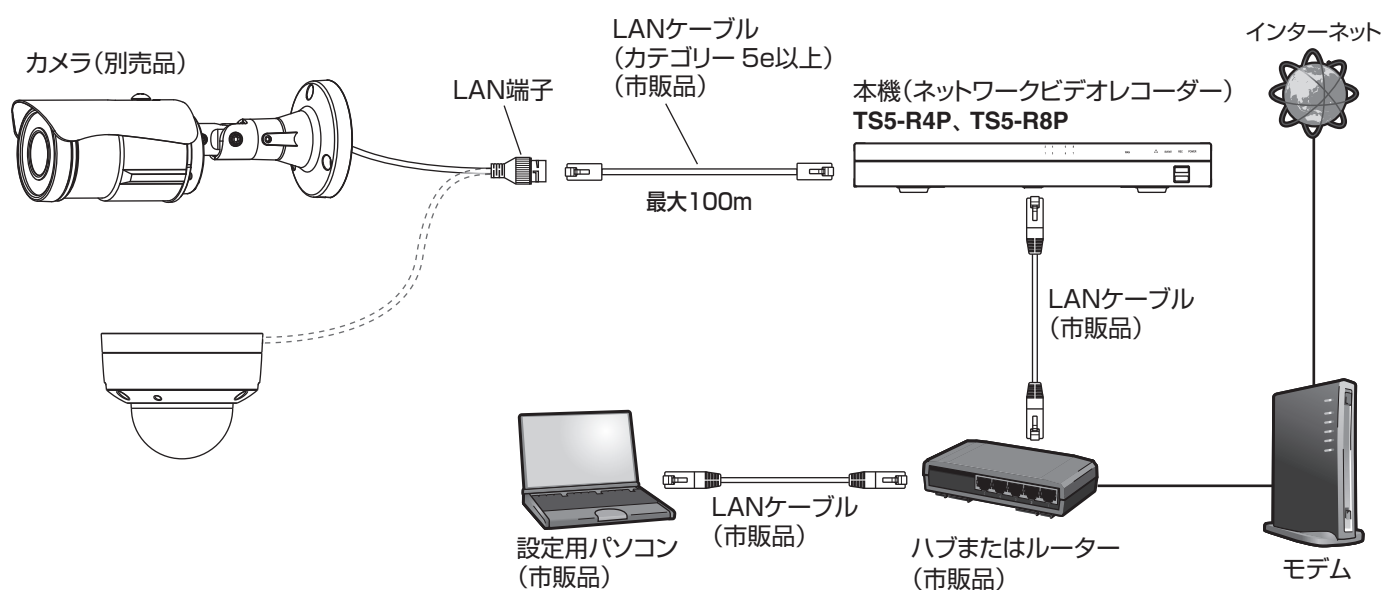
### ⑥ 検知感度レベル

バーをクリックアンドドラッグして、検知される感度レベルを設定します。

## ネットワークに接続する

- ① モデム、ハブまたはルーター、および設定用パソコンなどの電源を切ります。
- ② 各機器を接続します。
  1. 設定用パソコンとモデム、ハブまたはルーターが同一のルーターに接続されていることを確認します。
  2. 本機のLAN端子とハブまたはルーターをLANケーブルで接続します。
  3. 本機の映像入力端子(PoE給電)とカメラをLANケーブル(カテゴリ 5e以上)で接続します。
  4. モデム、ハブまたはルーターの電源を入れます。
    - 各機器の操作方法は、それぞれの取扱説明書をご確認ください。
- ③ 本機の電源を入れます。
- ④ 設定用パソコンの電源を入れます。

### 接続例



### ご注意

映像入力端子は、1ポートにつき1台のカメラのみ対応しています。  
複数台のカメラを接続する場合は、PoEハブなどでLAN端子に接続してください。

## Webブラウザからネットワークビデオレコーダー (NVR) の操作画面を表示する

① ホームページから、ソフトウェア「IP Installer.exe」をダウンロードします。

<https://www.maspro.co.jp/link/support/ts5/ip-installer.html>

② 「IP Installer.exe」をダブルクリックして、機器検索・アドレス設定画面を表示します。

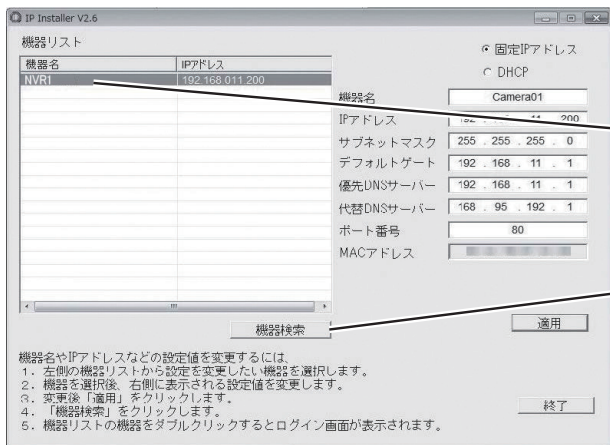
- Windows セキュリティ警告画面が表示される場合は、監視環境に応じてネットワークの種類を選択し、[アクセスを許可する]をクリックしてください。
- Windowsの設定から「ファイアウォールとネットワーク保護」の「ファイアウォールによるアプリケーションの許可」画面で ip\_installer.exe を許可の設定をすることで、セキュリティ警告画面は表示されなくなります。

③ 「機器検索」をクリックして、機器リストに接続しているネットワークビデオレコーダー (NVR) を表示します。

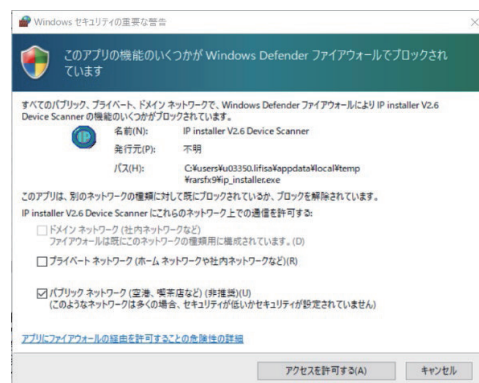
- 同一ネットワーク内にNVRがあるにもかかわらず、機器リストにカメラが表示されない場合は、IP Installerを終了して、再度、「IP Installer.exe」をダブルクリックして試してください。

④ 機器リストに表示されたネットワークビデオレコーダー (NVR) をダブルクリックして、ブラウザを起動します。

- 固定IPアドレスを使用する場合は「固定IPアドレス」を選択し、アドレスを入力後に「適用」をクリックしてください。



機器検索・アドレス設定画面

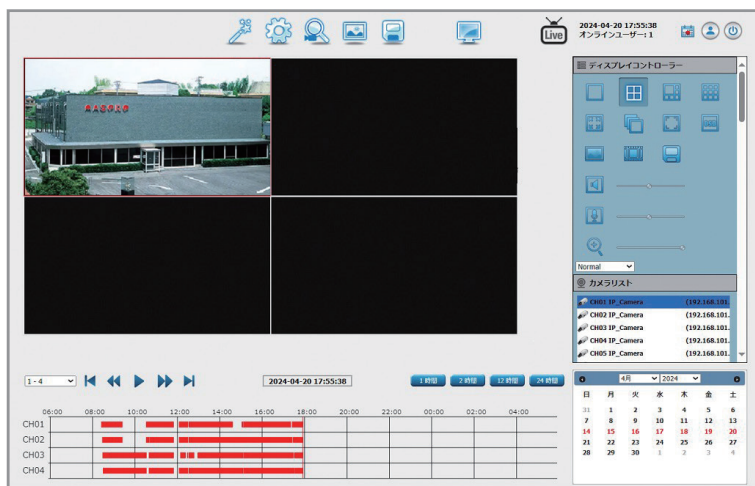


セキュリティ警告画面

⑤ ログイン画面に、ユーザー名とパスワードを入力します。(デフォルト : admin)



⑥ 「サインイン」をクリックすると、ネットワークビデオレコーダー (NVR) のWebブラウザ操作画面が表示されます。



Webブラウザ操作画面

**ご注意** ブラウザー画面の仕様は、異なることがあります。

## 表示機能



- ① 録画損失アイコン  
連続録画中などに何らかの原因で一時的に録画が中断された場合などに常時表示します。

---

- ② モーション検知アイコン  
モーション検知した時に、一時的に表示します

---

- ③ 録画アイコン  
録画中は常時表示されます。

## 操作

カメラ映像画面の上でマウスを右クリックすると、ショートカットメニューを表示します。

- EPTZを有効にします ————— ①
- スナップショット ————— ②
- オーディオを有効にします ————— ③
- 全画面 ————— ④
- 選択再生 ————— ⑤
- OSD ————— ⑥
- スワップ ————— ⑦
- 1画面 ————— ⑧
- 4画面 ————— ⑨
- 9画面 ————— ⑩

## ① EPTZを有効にします

チェックを入れると、カメラ映像が拡大されます。画面の右下に小窓が表示されて、小窓内をマウスでドラッグして、拡大画面の位置を調整します。  
チェックを外すと通常画面に戻ります。



## ② スナップショット

現在映っているカメラ映像画面のスナップショットを撮影して、アルバムに保存します。

## ③ オーディオを有効にします

本機では使用しません。

## ④ 全画面

チェックを入れると全画面表示して、チェックを外すと通常画面に戻ります。

## ⑤ 選択再生

チェックを入れると下部に再生時間バーが表示され、再生時間帯でマウスの左ボタンを押したまま、マウスを左右に動かして、再生したい時間帯をアンカーラインに合わせて再生できます。  
チェックを外すと通常画面に戻ります。



## ⑥ OSD

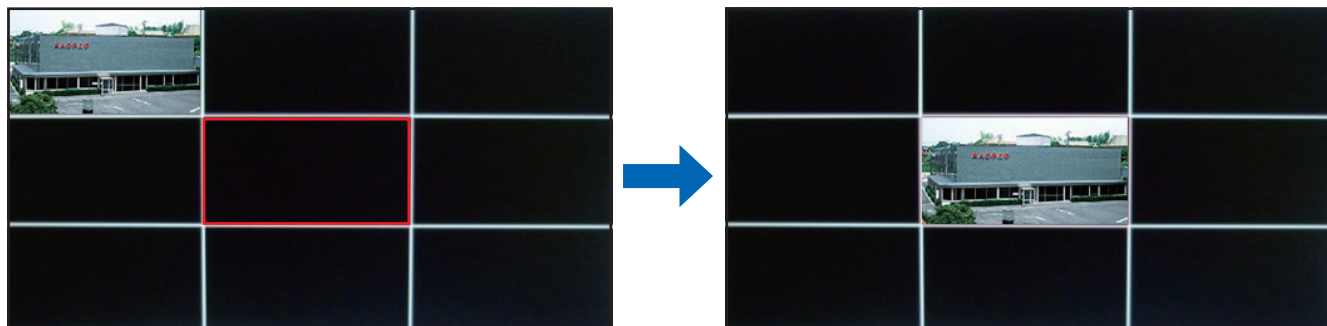
カメラ映像画面にカメラ番号、カメラ名、ビットレート、フレームレート情報を表示します。

## ⑦ スワップ

選択した枠でスワップからカメラ番号を選択すると、選択した枠に表示することができます。

《例》中央の枠で、スワップからカメラ番号1を選択すると、カメラ番号1が中央に表示されます。

●スワップ機能は4画面、6画面、9画面ごとに設定した内容で作動します。



## ⑧ 1画面

選択したカメラ番号のカメラ映像を1画面表示します。


## ⑨ 4画面

選択したカメラ番号範囲のカメラ映像を4画面表示します。

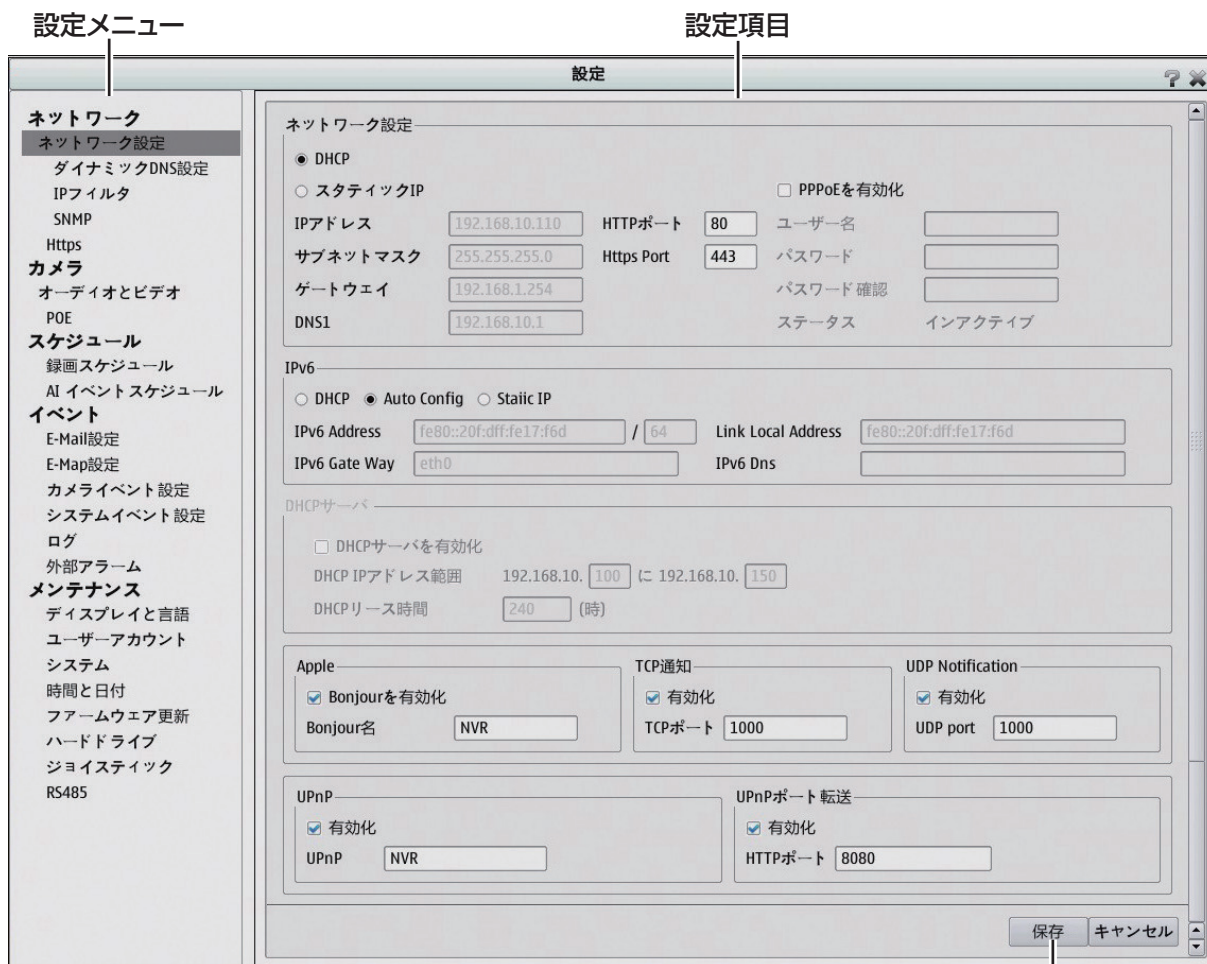
## ⑩ 9画面

9画面表示にします。

ネットワーク、カメラ、スケジュール、イベント、メンテナンスの設定をします。

- ①メインメニュー (p.8)の  (設定アイコン)をクリックします。
  - 設定画面を表示します。
- ②「設定メニュー」から設定する項目を選び、クリックします。
- ③「設定項目」の設定を変更します。
- ④設定を変更したら、画面右下の「保存」をクリックします。

## 《設定画面》



設定を変更したらクリックします。

## 設定メニュー 一覧

ネットワーク	ネットワーク設定 (p.21)
	ダイナミックDNS設定 (p.23)
	IPフィルター (p.23)
	SNMP (p.24)
カメラ	オーディオとビデオ (p.25)
	POE (p.32)
スケジュール	録画スケジュール (p.34)
	AIイベントスケジュール (p.37)

イベント	E-Mail設定 (p.39)
	E-Map設定 (p.39)
	カメライベント設定 (p.40)
	システムイベント設定 (p.42)
	ログ (p.43)
メンテナンス	外部アラーム (p.43)
	ディスプレイと言語 (p.44)
	ユーザーアカウント (p.45)
	システム (p.46)
	時間と日付 (p.47)
	ファームウェア更新 (p.48)
	ハードドライブ (p.49)
ジョイスティック (p.49)	
RS485 (p.49)	

## ネットワーク設定

### ネットワーク設定

<input type="radio"/> DHCP				<input type="checkbox"/> PPPoEを有効化	
<input checked="" type="radio"/> 固定IP					
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.10.110"/>	HTTPポート	<input type="text" value="80"/>	ユーザー名	<input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>	Https Port	<input type="text" value="443"/>	パスワード	<input type="text"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.1.254"/>			パスワード確認	<input type="text"/>
DNS1	<input type="text" value="192.168.10.1"/>			ステータス	インアクティブ
DNS2	<input type="text"/>				

#### DHCP

DHCPを使用する場合に選択します。  
(デフォルト：DHCP)

#### 固定IP

固定IPアドレスで使用する場合に選択します。

#### IPアドレス

IPアドレスを設定します。

#### サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。

#### ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを設定します。

#### DNS1

優先DNSサーバーを設定します。

#### DNS2

代替DNSサーバーを設定します。

#### PPPoEを有効化

PPPoE経由でインターネットに接続する場合は、インターネットサービスプロバイダーから提供されるユーザー名とパスワードを入力します。

### IPv6

本機では使用しません。

### DHCPサーバー (WAN側)

<input type="checkbox"/> DHCPサーバを有効化	
DHCP IPアドレス範囲	192.168.10. <input type="text" value="100"/> に 192.168.10. <input type="text" value="150"/>
DHCPリース時間	<input type="text" value="240"/> (時)

#### DHCPサーバーを有効化

設定されたIPアドレス範囲に従って、WAN側に接続したカメラに自動的にIPアドレスを設定する場合にチェックを入れます。(デフォルト：無効)

●DHCPサーバーを使用する場合は、ネットワーク設定の固定IPを選択します。

#### DHCP IPアドレス範囲

DHCPサーバーの開始IPアドレスと終了IPアドレスを設定します。

#### DHCPリース時間

DHCPサーバーのリース時間を設定します。

### Apple

本機では使用しません。

## TCP通知

TCP通知を使用する場合は「有効化」にチェックを入れて、TCPポートを入力します。

## UDP通知

UDP通知を使用する場合は「有効化」にチェックを入れて、UDPポートを入力します。

## UPnP

UPnPを使用する場合は「有効化」にチェックを入れます。

- UPnPを有効にすると、NVR(ネットワークビデオレコーダー)が自動的に検出されます。

## UPnPポート転送

ポート開放機能を有効にする場合は「有効化」にチェックを入れて、HTTPポートを入力します。

- NVR(ネットワークビデオレコーダー)が自動的にルーターのポートを開いて、LANからビデオストリームを送信することができます。
- この機能を利用するには、ルーターがUPnPをサポートしていて、有効になっている必要があります。

設定を変更したら、画面右下の「保存」をクリックします。

## ダイナミックDNS設定

### DDNS

ダイナミックDNS  有効化  無効化

サーバーアドレス  <<

ホスト名  (Ex, hostname.your-domain.org,hostname.ddns.camddns.com)

タイムアウト  (分) 5~5000

状態 **インアクティブ**

ポート 80

1.タイムアウト：タイムアウトの入力時間によって、DDNSサイトを自動的に更新します。範囲は5～5000分です。  
 2. dyndns.org & 3322.org：1日1回の更新が推奨されます（1日は1440分）。あまり頻繁に更新すると、切断されます。

#### ダイナミックDNS

DDNSを使用する場合は[有効化]を選択してください。  
 (デフォルト：無効化)

#### サーバーアドレス

ddns.camddns.comを選択します。

#### ホスト名

ホスト名を15文字以内で設定します。

#### タイムアウト

DDNSを更新する間隔を分単位で設定します。

#### 状態

DDNS設定を登録して「保存」をクリックすると、DDNSの状態を表示します。

インアクティブ：DDNS機能停止中

Updating：更新中

http://<ホスト名>.ddns.camddns.com：DDNSの登録完了です。ドメイン名は「<ホスト名>.ddns.camddns.com」となります。

Update Failed, the name is already registered：ユーザー名が既に使用されています。

Update Failed, please check your internet connection：ネットワーク接続に問題がありますので、確認してください。

設定を変更したら、画面右下の「保存」をクリックします。

**ご注意**

DDNSサービスは予告なく終了することがあります。あらかじめご了承ください。

## IPフィルター

### 許可/拒否リスト

拒否リストを有効化  許可リストを有効化

に

削除	アクセス	IP範囲
-	deny	192.168.10.1 to 192.168.10.20
-	allow	192.168.10.10 to 192.168.10.15

#### 拒否リストを有効化

登録済みの拒否リストを有効にする場合にチェックを入れます。

#### 許可リストを有効化

登録済みの許可リストを有効にする場合にチェックを入れます。

#### 拒否リストに追加

IPアドレスの範囲を入力して[拒否リストに追加]をクリックします。

#### 許可リストに追加

IPアドレスの範囲を入力して[許可リストに追加]をクリックします。

#### リスト削除

リストの削除「-」をクリックすると削除されます。

## SNMP

### SNMP

<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv1、SNMPv2cを有効化	
読み取り/書き込みコミュニティ	private
読み取り専用コミュニティ	public
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv3を有効化	
読み取り/書き込みセキュリティ名	private
認証タイプ	MD5
認証パスワード	●●●●●●●●
暗号化タイプ	DES
暗号化パスワード	●●●●●●●●
読み取り専用セキュリティ名	public
認証タイプ	MD5
認証パスワード	●●●●●●●●
暗号化タイプ	DES
暗号化パスワード	●●●●●●●●
<input type="checkbox"/> SNMPv1の/v2cのトラップ	
トラップアドレス	192.168.1.240
トラップコミュニティ	public
トラップイベント	<input type="checkbox"/> ハードディスクエラー <input type="checkbox"/> ネットワークが切断されました

#### SNMPv1、SNMPv2cを有効化

SNMPv1、SNMPv2cを使用する場合にチェックを入れます。

読み取り/書き込みコミュニティ：読み取り/書き込みに使用するコミュニティ名を設定します。

読み取り専用コミュニティ：読み取り専用使用するコミュニティ名を設定します。

#### SNMPv3を有効化

SNMPv3を使用する場合にチェックを入れます。

読み取り/書き込みセキュリティ名：読み取り/書き込みに使用するセキュリティ名を設定します。

認証タイプ：認証タイプを選択します。

認証パスワード：認証パスワードを設定します。

暗号化タイプ：暗号化のタイプを選択します。

暗号化パスワード：暗号化パスワードを設定します。

読み取り専用セキュリティ名：読み取り専用使用するセキュリティ名を設定します。

認証タイプ：認証タイプを選択します。

認証パスワード：認証パスワードを設定します。

暗号化タイプ：暗号化タイプを選択します。

暗号化パスワード：暗号化パスワードを設定します。

#### SNMPv1/v2cトラップ

SNMPv1/v2cトラップを使用するときチェックを入れます。

トラップアドレス：トラップアドレスを設定します。

トラップコミュニティ：トラップコミュニティ名を設定します。

トラップイベント：[ハードディスクエラー]、[ネットワークが切断されました]を選択します。  
設定したトラップアドレスにトラップメッセージのメールを送信します。

設定を変更したら、画面右下の「保存」をクリックします。

## HTTPS

本機では使用しません。

カメラの設定をします。

## オーディオとビデオ

チャンネル	カメラ名	IPアドレス	製造者	モデル
CH01	IP_Camera	192.168.101.110	NORMAL	AUTO
CH02	IP_Camera	192.168.101.111	NORMAL	AUTO
CH03	IP_Camera	192.168.101.112	NORMAL	AUTO
CH04	IP_Camera	192.168.101.113	NORMAL	AUTO
CH05	なし			
CH06	なし			
CH07	なし			
CH08	なし			
CH09	なし			

設定するカメラをクリックすると、カメラの設定画面が表示されます。

### オーディオおよびビデオパラメーター

#### ビデオ

クリックすると、同じ設定を他のカメラに反映させる設定画面が表示されます。

#### メインプロファイルの設定

##### ビデオフォーマット

MJPEG、H.264、H.264+から設定します。

●MPEG4は設定できません。

##### フレームレート

フレームレートを設定します。

##### 解像度

解像度を設定します。

##### ビットレート

ビットレートを設定します。

●カメラによって設定できる値が変わります。

##### 品質

品質を設定します。

●MPEG選択時のみ設定可能。

#### サブプロファイルの設定

##### ビデオフォーマット

H.264、H.264+から設定します。

●MJPEG、MPEG4は設定できません。

##### フレームレート

フレームレートを設定します。

##### 解像度

解像度を設定します。(H.264設定:最大640×480)

##### ビットレート

ビットレートを設定します。(H.264設定:最大512kbps)

##### 品質

本機では使用しません。

#### ご注意

モーション、マスク、AI検出を設定する場合は、カメラの解像度を以下のように設定してください。メインプロファイルの解像度が2592×1944、2048×1536、1600×1200、1280×960、800×600、640×480の場合は、サブプロファイルの解像度を640×480に設定します。メインプロファイルの解像度が2592×1520、1920×1080、1280×720、640×360の場合は、サブプロファイルの解像度を640×360に設定します。

#### オーディオ

本機では使用しません。

## 画像



### 明るさ

明るさを設定します。

### コントラスト

コントラストを設定します。

### 色相

色相を設定します。

### 彩度

彩度を設定します。

### 鮮明度

鮮明度を設定します。

### True-WDR

True-WDRを設定します。

●TS5-Z4Pシリーズの設定

### D-WDR

D-WDRを設定します。

●TS5-FPシリーズの設定

### デイナイトモード

デイモードとナイトモードを設定します。

Light Sensor Mode : 自動でデイとナイトを切替えます。

デイとナイトに切替える照度luxを設定します。

Color Mode(Day) : デイモードで固定します。

B/W Mode(Night) : ナイトモードで固定します。

Times Mode : 設定時間でデイとナイトを切替えます。

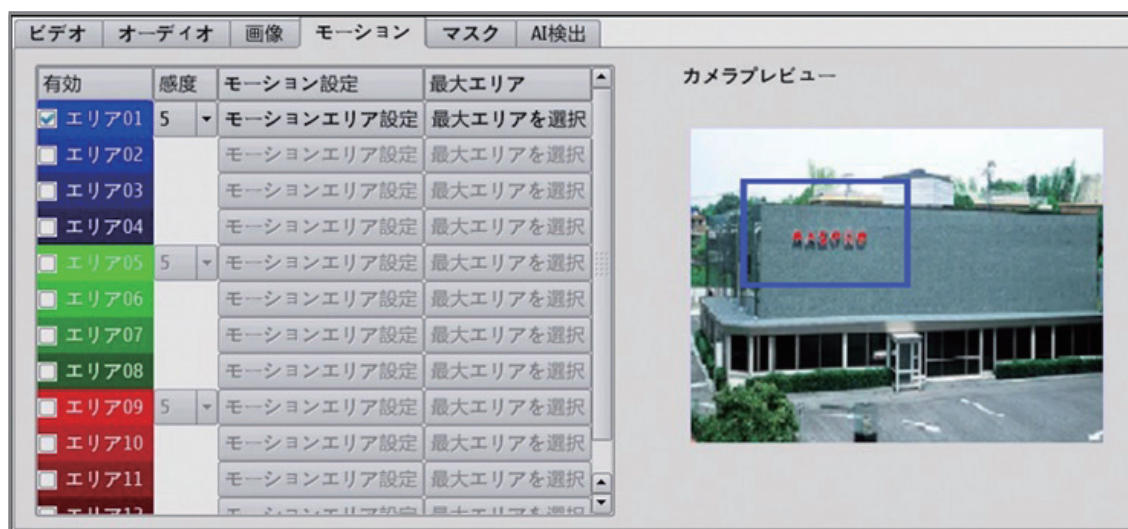
日(デイ)と夜(ナイト)を切替える時間を設定します。

### AES(自動電子シャッター)

カメラの設置場所に応じて、シャッター時間を設定します。シャッター時間が短いほど、カメラに入る光量が少なくなり、映像が暗くなります。

屋外で使用する場合は「Outdoor」を選択してください。(デフォルト : Outdoor)

## モーション



### 有効

任意のエリア01～12にチェックを入れて、動きを感知したいエリアを設定します。

### 感度

動きを感知するときの感度を選択します。数値の大きいほうが、より高感度になります。

感度設定は、青、緑、赤の3つのグループに分かれます。

### モーション設定

感知するエリアを指定する場合にモーションエリア設定を選択します。カメラプレビュー画面でクリックアンドドラッグでエリアを設定します。

### 最大エリア

感知するエリアを全画面にする場合に最大エリアを選択します。

## マスク

撮影したくない範囲にプライバシーマスクを設定することで、映像画面および録画画像の指定した範囲を、黒塗りで表示します。



エリア01～03のいずれかにチェックを入れ、チェックを入れた右側の「マスクエリア設定」をクリックしてから、表示された映像上で、プライバシーマスクする範囲をクリックアンドドラッグで設定して「保存」をクリックします。



プライバシーマスク設定画面

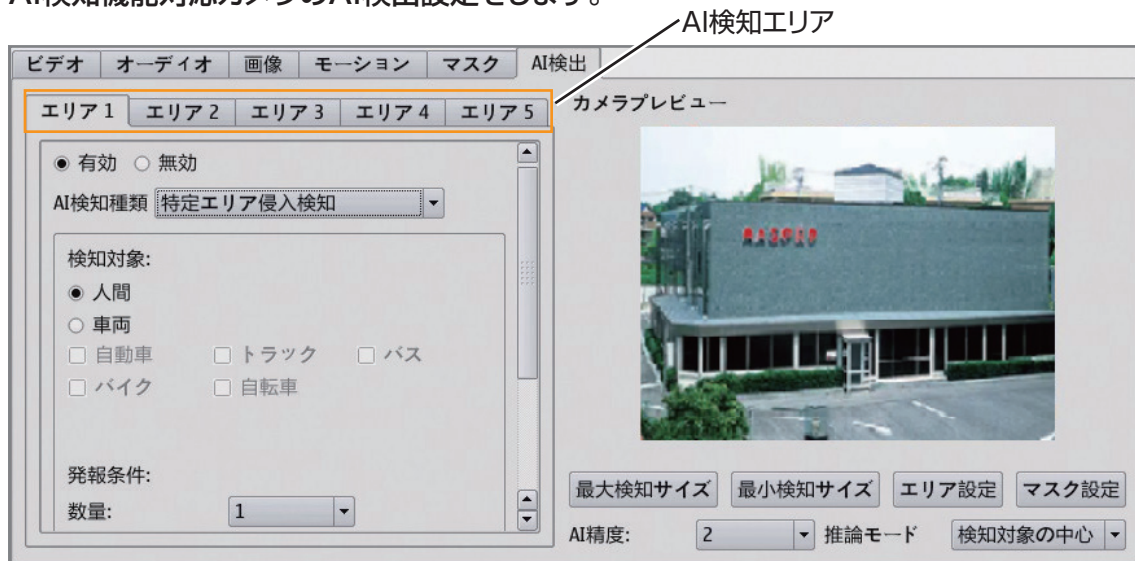


カメラ映像画面

設定したプライバシーマスクを削除する場合は、削除したいカラーのエリア番号の「マスクエリア設定」をクリックして、カラーが消えたことを確認し、エリア番号のチェックを外して「保存」をクリックします。

## AI検出

AI検知機能対応カメラのAI検出設定をします。



### AI検知エリア

エリア1～5を選択します。各エリアごとに、AI検知種類を設定することができます。

### 有効/無効

AI検知機能を使用する場合は「有効」を選択します。

### AI検知種類

AI検知の種類を選択します。

- 特定エリア侵入検知(p.29) : 被写体の特定エリア侵入を検知する場合に選択します。
- 行列検知(p.29) : 被写体の行列を検知する場合に選択します。
- 集まり検知(p.29) : 被写体の集まりを検知する場合に選択します。(検知対象:人間のみ)
- 侵入検知(p.30) : 被写体の侵入を検知する場合に選択します。(発報条件:間隔のみ)
- 滞留検知(p.30) : 被写体の滞在時間で検知する場合に選択します。(検知対象:人間のみ、発報条件:滞在時間、間隔)
- ラインクロス検知(p.30) : 被写体が検出ラインを跨ぐことで検知する場合に選択します。(発報条件:間隔、検出ラインA->B、A<-Bを選択します)

### 検知対象

人間または車両(自動車、トラック、バス、バイク、自転車)から選択します。

### 発報条件

数量、滞在時間、間隔、検出ラインを設定します。(AI検知の種類で選択項目が変わります)

### アラーム設定

E-mail、FTP、SDカード、Sambaから選択します。(接点出力:本機では使用しません)

### 注意

AI検知機能対応カメラのブラウザー画面で設定した内容を作動させるときにチェックを入れて使用します。アラームが発動してレコーダーから発報させる場合は、カメライベント設定のAI検出を使用してください。

### 最大検知サイズ

被写体の最大検知サイズを赤色の枠で設定します。

### 最小検知サイズ

被写体の最小検知サイズを緑色の枠で設定します。

### エリア設定

マウスの左をクリックアンドドラッグして検知エリアを設定します。(検知エリア番号で設定エリアの色が変わります)

### マスク設定(p.31)

検知エリア内で検知対象外とするエリアを設定します。(灰色の枠で表示されます)

### AI精度

AI検知の精度を設定します。(数字が大きいほど、感度が高くなります)

### 推論モード

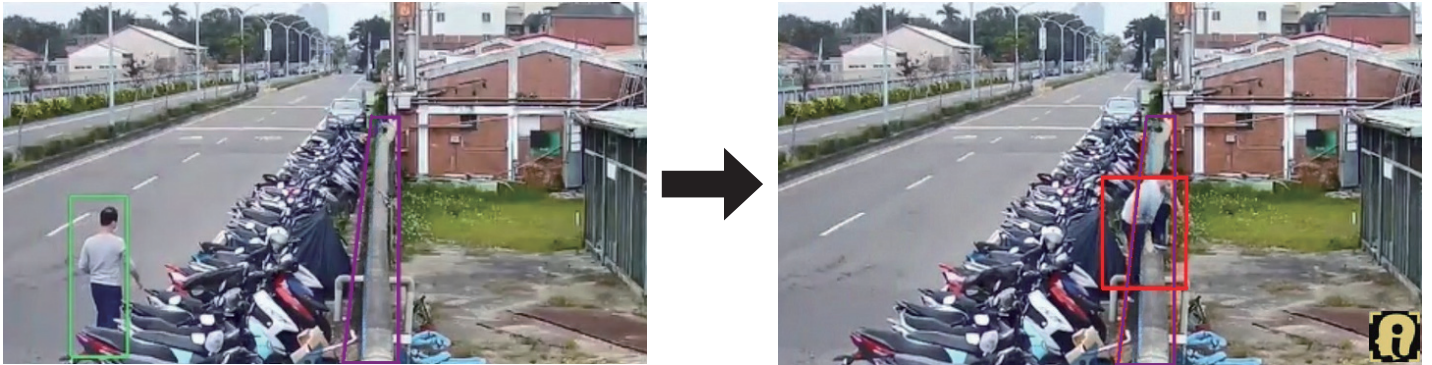
検知対象の中心:被写体の中心部が検知エリアに侵入することで検知します。  
 検知対象の底部:被写体の底部が検知エリアに侵入することで検知します。

## イベントの定義方法

設定した数量以上の被写体が検出エリアに入り、設定した滞在時間を超えると、アラーム設定で設定した条件およびカメライベント設定のAI検出で設定した条件を発報し、画面右下にAIアイコンが表示されます。検知対象の被写体は赤色の枠、検知対象外の被写体は緑色の枠で表示されます。

### 特定エリア侵入検知

例：検知対象を人間、発報条件を数量1と設定した場合、下記画面のように、検出エリアの紫色の枠内にいる人物が滞在時間を超えて、画面右下にAI検知アイコンが表示されて、アラーム設定で設定した条件およびカメライベント設定のAI検出で設定した条件を発報します。



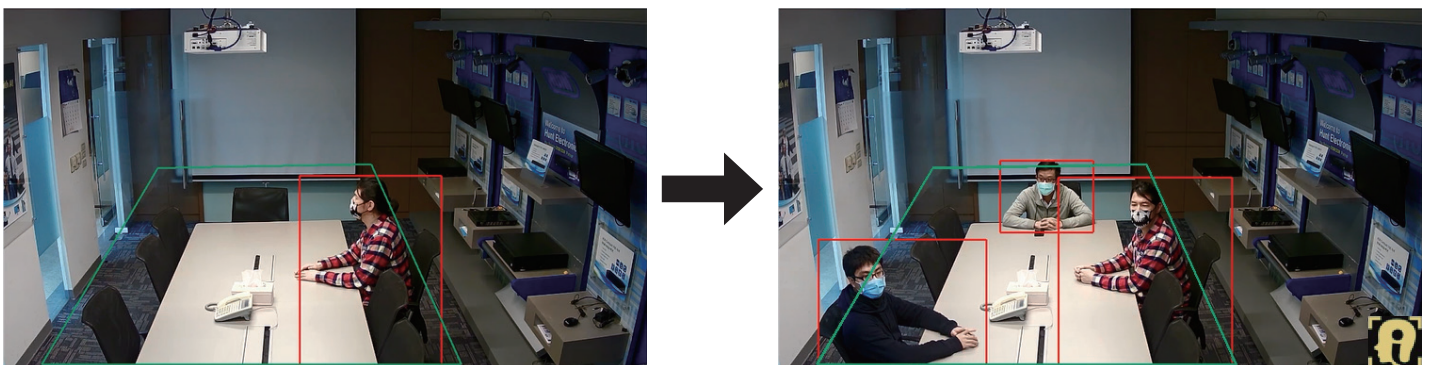
### 行列検知

例：検知対象を人間、発報条件を数量2と設定した場合、下記画面のように、検出エリアの青色の枠内にいる人物が2人以上並んで滞在時間を超えて、画面右下にAI検知アイコンが表示されて、アラーム設定で設定した条件およびカメライベント設定のAI検出で設定した条件を発報します。



### 集まり検知

例：検知対象を人間、発報条件を数量3と設定した場合、下記画面のように、検出エリアの緑色の枠内にいる人物が3人以上集まって滞在時間を超えて、画面右下にAI検知アイコンが表示されて、アラーム設定で設定した条件およびカメライベント設定のAI検出で設定した条件を発報します。



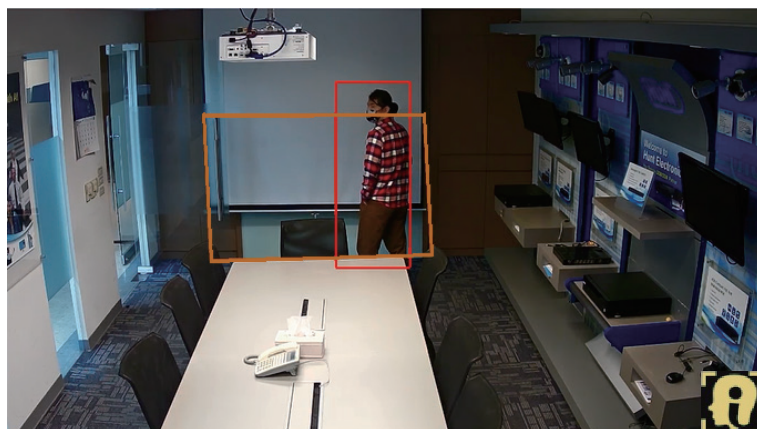
## 侵入検知

例：検知対象を人間と設定した場合、下記画面のように、検出エリアの黄色の枠内にいる人物が侵入することで、画面右下にAI検知アイコンが表示されて、アラーム設定で設定した条件およびカメライベント設定のAI検出で設定した条件を発報します。



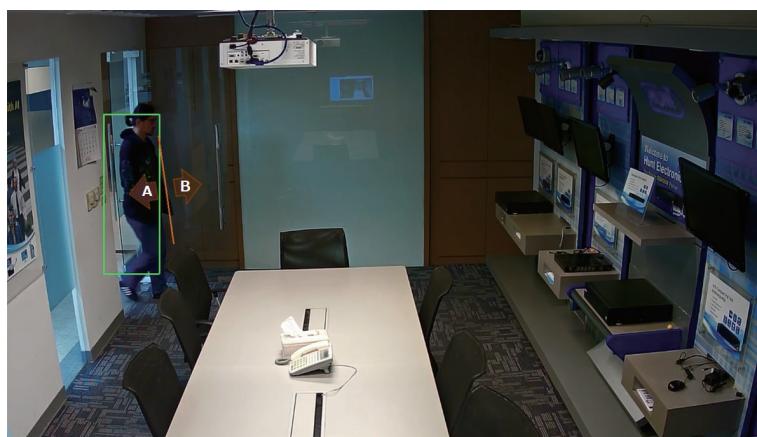
## 滞留検知

例：発報条件の滞在時間を10秒と設定した場合、下記画面のように、検出エリアの枠内で人物が10秒以上滞在することで、画面右下にAI検知アイコンが表示されて、アラーム設定で設定した条件およびカメライベント設定のAI検出で設定した条件を発報します。



## ラインクロス検知

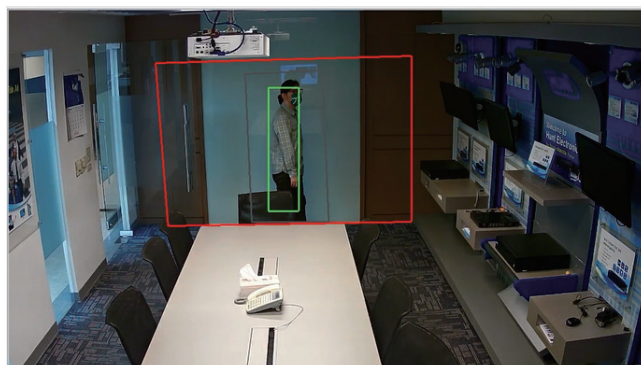
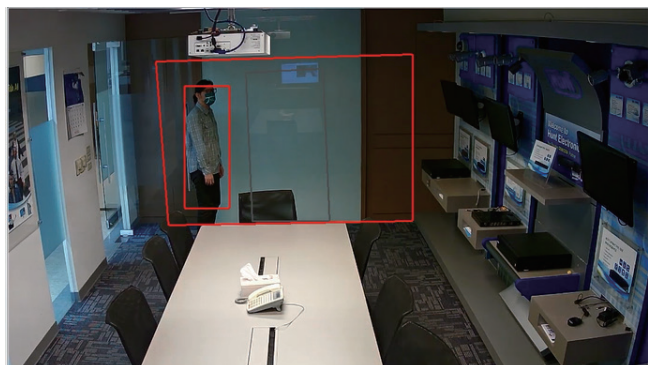
例：検知対象を人間、発報条件をA->Bと設定した場合、下記画面のように、検出ラインをAからBに人物が移動することで、画面右下にAI検知アイコンが表示されて、アラーム設定で設定した条件およびカメライベント設定のAI検出で設定した条件を発報します。



検出ラインの周りをクリックすると、検出ラインを回転することができます。  
検出ラインをクリックアンドドラッグで位置を移動することができます。

## マスク設定

例: 検出エリア内にマスクエリアを設定した場合、検知対象の被写体がマスクエリア(灰色の枠)に入れば、検知対象外となり、下記画面のように被写体が緑色の枠で表示されて、アラーム設定で設定した条件およびカメライベント設定のAI検出で設定した条件を発報しません。



## POE

PoE Port Mode: Plug&play ▼

**POEネットワーク**

IPアドレス

サブネットマスク

**DHCPサーバ**

DHCPサーバを有効化

DHCP IPアドレス範囲  に

DHCPリース時間  (時)

**POE**

総使用電力量: 14W ワット

ポート	使用ワット	リセット	フォワード
port1	5W	<input type="button" value="Reset"/>	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8181
port2	3W	<input type="button" value="Reset"/>	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8182
port3	3W	<input type="button" value="Reset"/>	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8183
port4	3W	<input type="button" value="Reset"/>	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8184
port5	0W	<input type="button" value="Reset"/>	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8185
port6	0W	<input type="button" value="Reset"/>	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8186
port7	0W	<input type="button" value="Reset"/>	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8187

### PoE Port Mode

ネットワークの状況に応じて、PoEポートのモードを選択します。(デフォルト: Plug&play)

- Plug&play : PoEポートに接続されているカメラを自動的に検出し、カメラリストに登録します。
- Dual Ethernet: デュアルNICモードで機能します。WANとPoE は異なるドメインに属します。
- Bridge : ブリッジモードで機能します。

●NVRのPoEポートに接続しているカメラをP2Pで直接接続してカメラ映像を視聴するときなどに設定します。

### PoEネットワーク

#### IPアドレス

映像入力端子(PoE給電)のIPアドレスを設定します。

#### サブネットマスク

映像入力端子(PoE給電)のサブネットマスクを設定します。

### DHCPサーバー (PoE側)

#### DHCPサーバーを有効化

設定されたIPアドレス範囲に従って、PoEポートに接続したカメラに自動的にIPアドレスを設定する場合にチェックを入れます。(デフォルト: 有効化)

#### DHCP IPアドレス範囲

IPアドレスを割当てる範囲を設定します。

#### DHCPリース時間

IPアドレスのリース時間を設定します。

## PoE

PoE接続されているカメラの総使用電力量が表示されます。

POE			
総使用電力量: 14W ワット			
ポート	使用ワット	リセット	フォワード
port1	5W	Reset	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8181
port2	3W	Reset	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8182
port3	3W	Reset	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8183
port4	3W	Reset	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8184
port5	0W	Reset	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8185
port6	0W	Reset	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8186
port7	0W	Reset	<input checked="" type="checkbox"/> HTTP PORT:8187

### リセット

「Reset」をクリックすると使用ワットを再表示します。

### フォワード

チェックを外すと映像が停止します。

## 録画スケジュール

手動録画が停止されていることを確認して、設定を行なってください。

<b>スケジュール設定</b> <input checked="" type="checkbox"/> スケジュール録画を有効化 <input checked="" type="checkbox"/> オーディオ録画を有効化 <input checked="" type="checkbox"/> 自動上書きを有効化 <input type="checkbox"/> Keep <input type="text" value="180"/> Day(s) Video	<b>イベント設定</b> 事前録画: <input type="text" value="5"/> (秒) 事後録画: <input type="text" value="10"/> (秒)
--	--

### スケジュール設定

#### スケジュール録画を有効化

スケジュール録画しない場合はチェックを外してください。

#### オーディオ録画を有効化

本機では使用しません。

#### 自動上書きを有効化

自動上書きしない場合はチェックを外してください。

#### Keep Day(s) Video

録画データを保存する日にちを設定します。

### イベント設定

#### 事前録画/事後録画

イベントが発報された場合に、本機が録画前時間と録画後時間の間でビデオの録画を開始する時間範囲を設定します。

- モーション録画、イベント録画を設定する場合は、設定時間が短いと再生するときに操作しにくいいため、事後録画を300秒に設定することをお勧めします。(デフォルト: 10秒)

### スケジュール変更方法

① カメラリスト

② 連続録画

③ 開始時間

④ スケジュール追加/編集

⑤ 終了時間

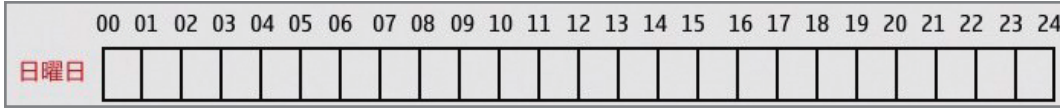
開始時間	終了時間	録画
00:00	23:59	連続録画

① クリックすると、選択中のカメラのスケジュールがすべて連続録画に設定されます。

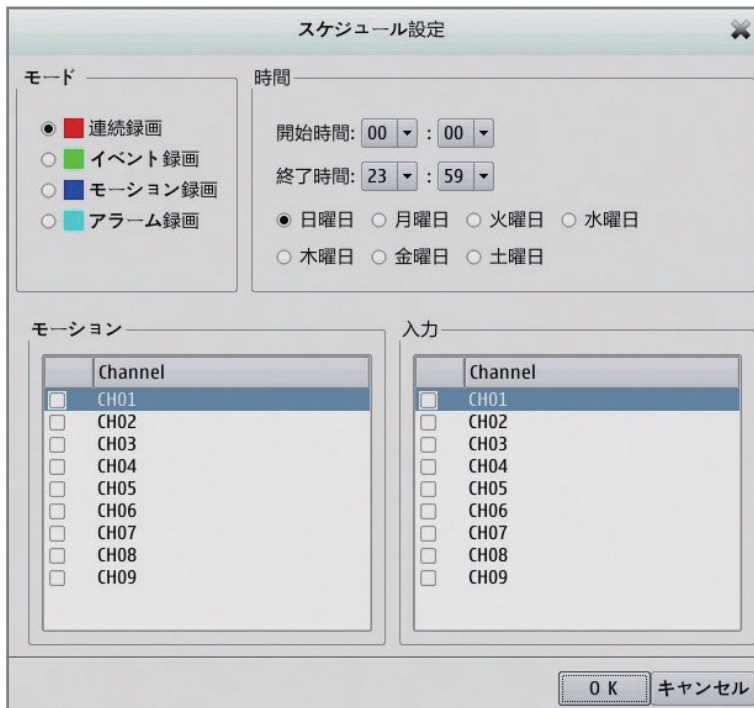
④ 同じ設定を他のカメラにコピーする場合、クリックします。  
 ●詳細は《同じ設定を他のカメラにコピーする場合》(p.35)をご覧ください。

《例》カメラ1の日曜日のスケジュール(連続録画)をスケジュール(モーショ記録画)に変更する場合

- ①カメラリストからスケジュール設定を変更したいカメラ1を選択します。
- ②日曜日の時間帯を選択します。
  - 日曜日が赤色に変化します。
- ③現在設定されているスケジュールをクリックすると、青色に変化します。
- ④「スケジュールを削除します」をクリックします。
  - 日曜日のスケジュールが削除されます。



- ⑤「スケジュール追加/編集」をクリックします。
  - 設定画面が表示されます。
- ⑥モードでモーショ記録画を選択し、時間で開始時間と終了時間と曜日を設定して、「OK」をクリックします。



## モード

**連続録画** : 連続で録画する時間を設定します。  
**イベント録画** : AI検知、モーショ検知で録画する時間を設定します。

●AI検知でイベント録画する場合は、「AIイベントスケジュール」(p.37)でスケジュールを有効に設定する必要があります。

**モーショ記録画** : モーショ検知で録画する時間を設定します。

**アラーム録画** : 本機では使用しません。

## モーション

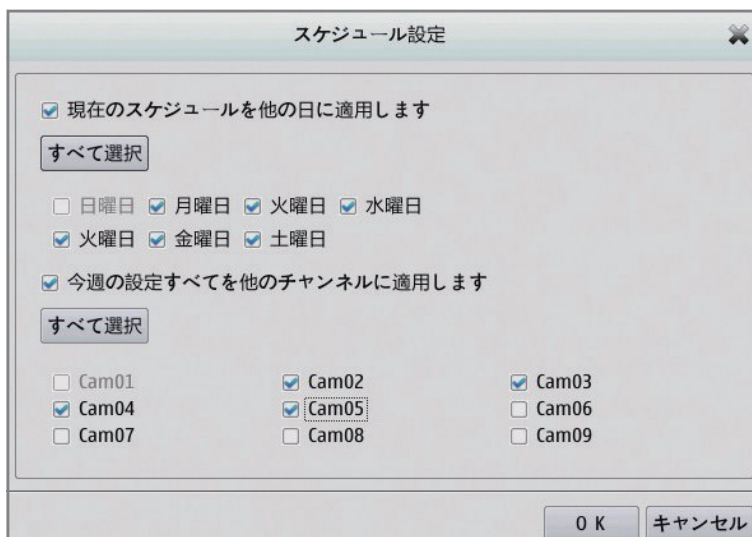
モーショ記録画を選択した場合に、チェックが入っているカメラが反応すると、設定しているカメラのイベントが発報されます。

## 入力

本機では使用しません。

《同じ設定を他のカメラにコピーする場合》

- ①「コピースケジュール」(p.34)をクリックします。
  - 設定画面が表示されます。
- ②設定項目を選択して、「OK」をクリックします。



## 録画時間の目安

同時録画 カメラ数	ビットレート	ハードディスク容量			
		2TB	4TB	6TB	8TB
1台	1Mbps	4480時間	8960時間	13440時間	17920時間
	2Mbps	2240時間	4480時間	6720時間	8960時間
	4Mbps	1120時間	2240時間	3360時間	4480時間
4台	1Mbps	1120時間	2240時間	3360時間	4480時間
	2Mbps	560時間	1120時間	1680時間	2240時間
	4Mbps	280時間	560時間	840時間	1120時間
8台	1Mbps	560時間	1120時間	1680時間	2240時間
	2Mbps	280時間	560時間	840時間	1120時間
	4Mbps	140時間	280時間	420時間	560時間

デフォルト設定：CBR ビットレート4Mbps、圧縮形式H.264

●H.264の推奨ビットレート：1Mbps(640×480)、2Mbps(1920×1080)、4Mbps(2560×1920)

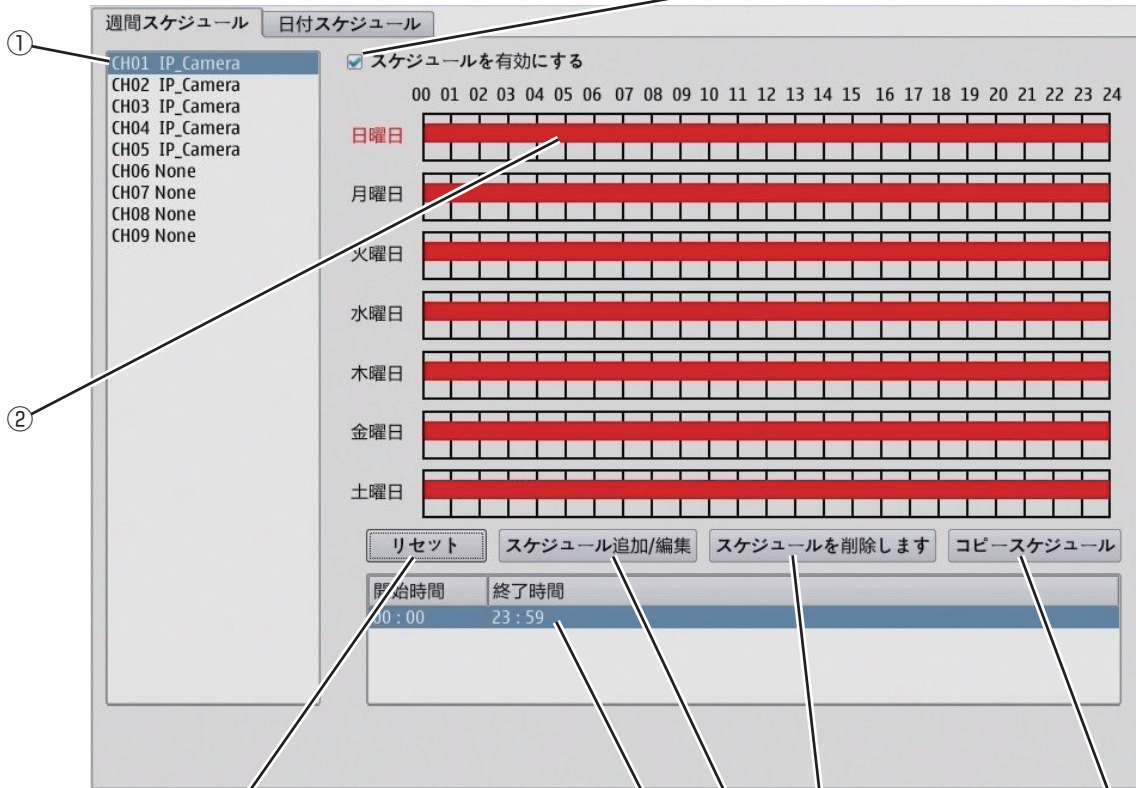
●録画解像度およびフレームレートは、録画時間に影響しません。

## AIイベントスケジュール

### 週間スケジュール

AI検知の設定が作動する、一週間の時間帯を設定します。

AI検知設定を作動させる場合にチェックを入れます。



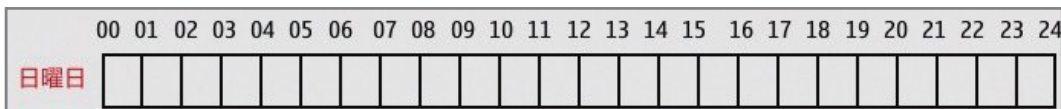
① クリックすると、選択中のカメラのスケジュールがすべて消去されます。

④ 同じ設定を他のカメラにコピーする場合、クリックします。

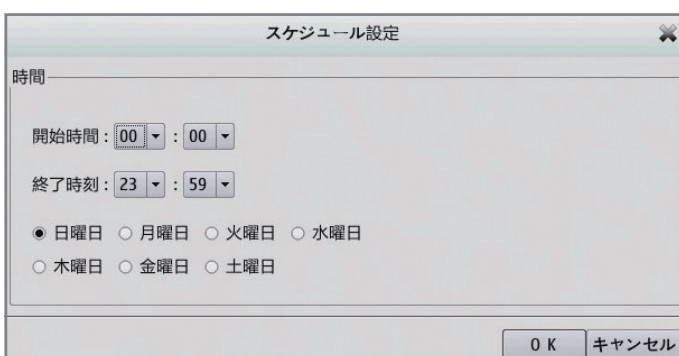
●詳細は《同じ設定を他のカメラにコピーする場合》(p.35)をご覧ください。

### 《例》カメラ1の日曜日のスケジュールを削除して、新しく追加する場合

- ① カメラリストからスケジュール設定を変更したいカメラ1を選択します。
- ② 日曜日の時間帯を選択します。
  - 日曜日が赤色に変化します。
- ③ 現在設定されているスケジュールをクリックすると、青色に変化します。
- ④ 「スケジュールを削除します」をクリックします。
  - 日曜日のスケジュールが削除されます。



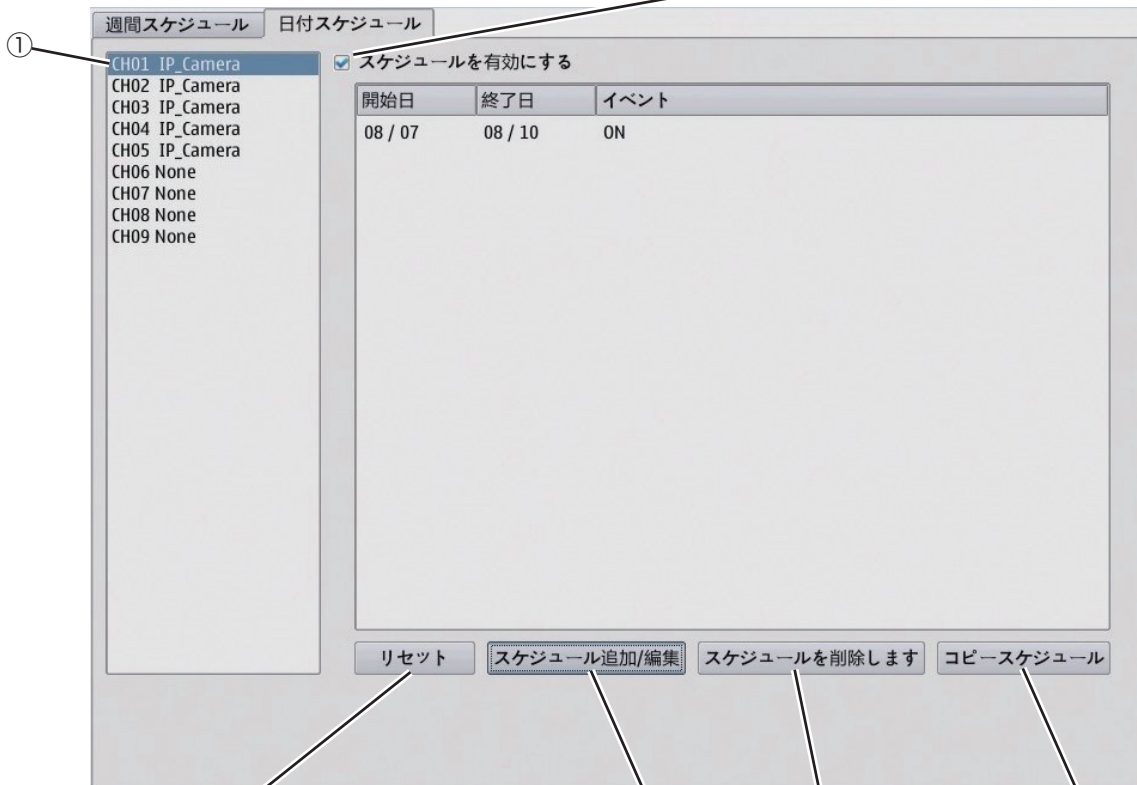
- ⑤ 「スケジュール追加/編集」をクリックします。
  - 設定画面が表示されます。
- ⑥ 開始時間と終了時間と曜日を設定して、「OK」をクリックします。



## 日付スケジュール

AI検知の設定が作動する、開始日と終了日を設定します。

AI検知設定を作動させる場合にチェックを入れます。



① クリックすると、選択中のカメラのスケジュールがすべて消去されます。

②

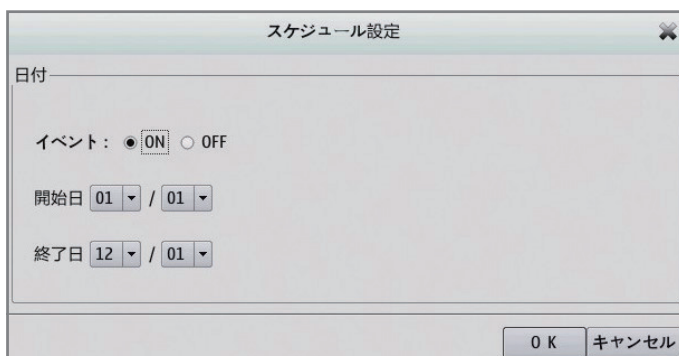
④

同じ設定を他のカメラにコピーする場合、クリックします。

●詳細は《同じ設定を他のカメラにコピーする場合》(p.35)をご覧ください。

### 《例》カメラ1のスケジュールを追加する場合

- ①カメラリストからスケジュールを追加するカメラ1を選択します。
- ②「スケジュール追加/編集」をクリックします。
  - 設定画面が表示されます。
- ③イベント「ON」を選択し、開始日と終了日を設定して、「OK」をクリックします。
  - イベントをOFFに設定すると、設定した開始日から終了日まで、AI検知設定が作動しません。



- ④削除したいスケジュールを選択して、「スケジュールを削除します」をクリックすると削除できます。

## E-Mail設定

### SMTP設定

送信者Emailアドレス	<input type="text"/>
サーバーアドレス	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
ポート	<input type="text" value="25"/> <input type="checkbox"/> このサーバーは安全な接続が必要です ( TLS開始 )
<input type="button" value="テスト"/>	

「テスト」をクリックして、宛先メールアドレスにテストメールを送信することができます。  
 ●不明な場合は、契約されているプロバイダーサービスにご確認ください。

#### 送信者Emailアドレス

送信元(本機で使用する)メールアドレスを設定します。

#### サーバーアドレス

送信メールサーバーのアドレスを設定します。

#### ユーザー名

メールサーバーのユーザー名を設定します。

#### パスワード

メールサーバーのパスワードを設定します。

#### ポート

メールサーバーのポート番号を設定します。  
(デフォルト: 25)

#### このサーバーは安全な接続が必要です (TLS開始)

TLS認証がある場合は、チェックを入れます。

### 《Gmailアカウントでの登録方法(2025年6月現在)》

送信者Emailアドレス	000@gmail.com	同じアドレスを入力
サーバーアドレス	smtp.gmail.com	
ユーザー名	000@gmail.com	
パスワード	アプリパスワードを設定します。 ●Googleアカウントのセキュリティから、2段階認証プロセスをオンに設定して、アプリパスワードを発行します。	
ポート	587	
このサーバーは安全な接続が必要です	チェックを入れます。	

### コンタクト

ユーザー名	<input type="text" value="maspro1"/>	Emailアドレス	<input type="text" value="maspro1@maspro.co.jp"/>	<input type="button" value="追加"/>
削除	ユーザー名	E-mail		
-	maspro1	maspro1@maspro.co.jp		

#### ユーザー名

送信先のユーザー名を設定します。

#### Emailアドレス

送信先のメールアドレスを設定します。

「追加」をクリックして登録します。  
 ●削除する場合は、リストの削除「-」をクリックします。

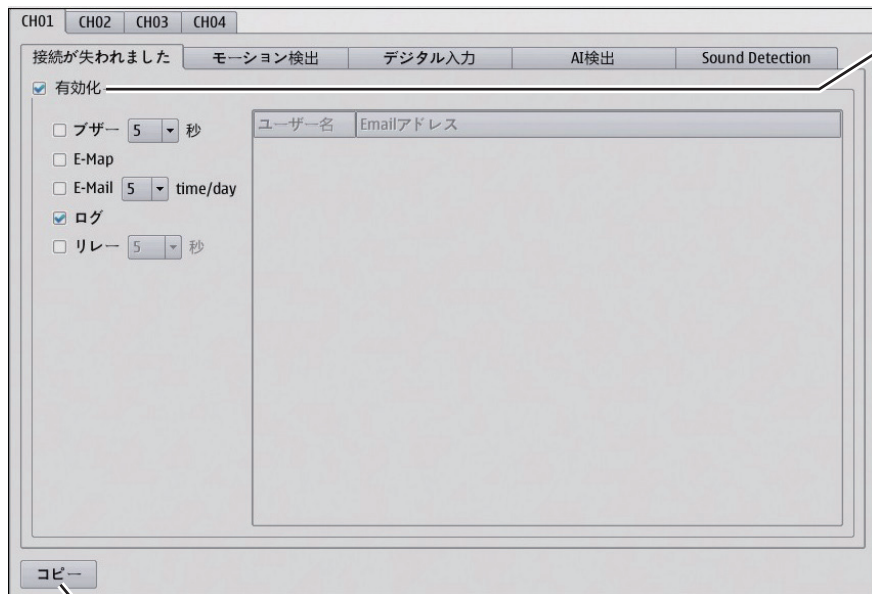
## E-Map設定

本機では使用しません。

## カメライベント設定

カメラ番号のタブを選択して、イベント発生時の発報を設定します。

### 接続が失われました



カメラの接続が遮断されたときに、設定した条件を発報させる場合は、有効化にチェックを入れます。

#### ブザー

本機内蔵のブザーを鳴らす時間を設定します。

#### E-Mail

登録されているメールアドレスにメールを送信します。  
(送信先のアドレスにもチェックを入れます)  
1日の最大メール送信回数を設定します。  
(カメラの接続が遮断された回数)

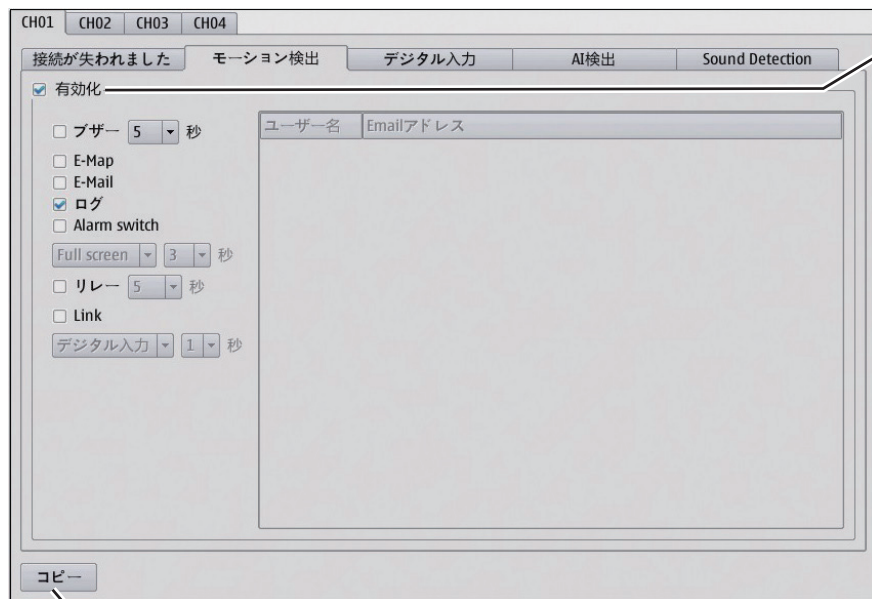
#### ログ

本機にログを保存します。

●その他の設定は、本機では使用しません。

同じ設定を他のカメラにコピーする場合に使用します。

### モーション検出



モーション検知されたときに、設定した条件を発報させる場合は、有効化にチェックを入れます。

#### ブザー

本機内蔵のブザーを鳴らす時間を設定します。

#### E-Mail

登録されているメールアドレスにメールを送信します。  
(送信先のアドレスにもチェックを入れます)

#### ログ

本機にログを保存します。

#### Alarm switch

「Full screen」を選択すると、カメラ映像画面を最大分割数で表示する時間を設定します。

「Single split」を選択すると、検知されたカメラのカメラ映像画面のみを表示する時間を設定します。

●その他の設定は、本機では使用しません。

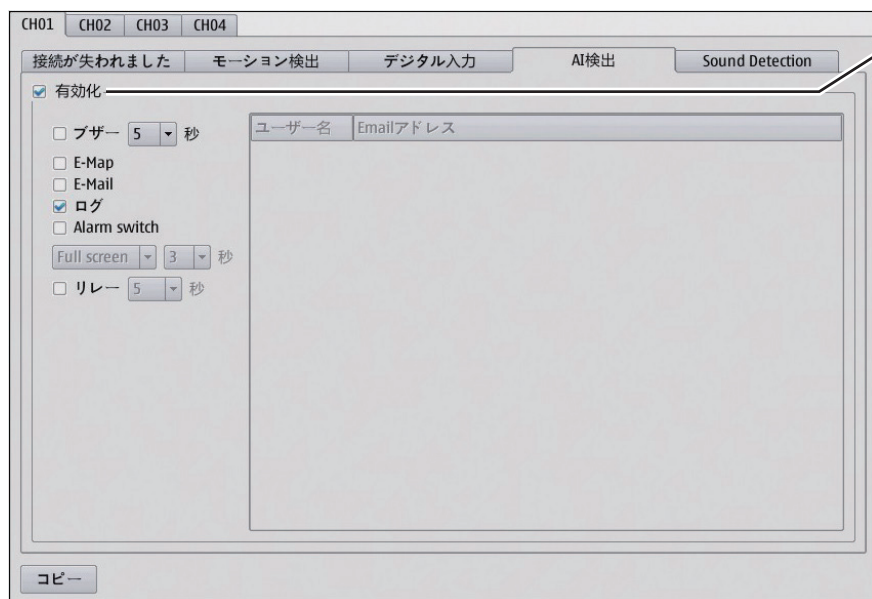
同じ設定を他のカメラにコピーする場合に使用します。

### デジタル入力

本機では使用しません。

## AI検出

AI検知機能対応カメラの場合に設定します。



AI検知されたときに、設定した条件を発報させる場合は、有効化にチェックを入れます。  
●「AIイベントスケジュール」(p.37)でスケジュールを有効に設定する必要があります。

### ブザー

本機内蔵のブザーを鳴らす時間を設定します。

### E-Mail

登録されているメールアドレスにメールを送信します。  
(送信先のアドレスにもチェックを入れます)

### ログ

本機にログを保存します。

### Alarm switch

「Full screen」を選択すると、カメラ映像画面を最大分割数で表示する時間を設定します。

「Single split」を選択すると、検知されたカメラのカメラ映像画面のみを表示する時間を設定します。

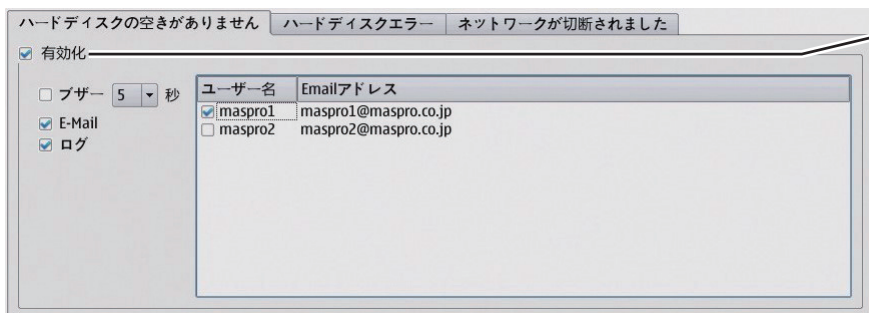
●その他の設定は、本機では使用しません。

## Sound Detection

本機では使用しません。

## システムイベント設定

### ハードディスクの空きがありません



ハードディスクの空きがなくなったときに、設定した条件を発報させる場合は、有効化にチェックを入れます。

#### ブザー

本機内蔵のブザーを鳴らす時間を設定します。

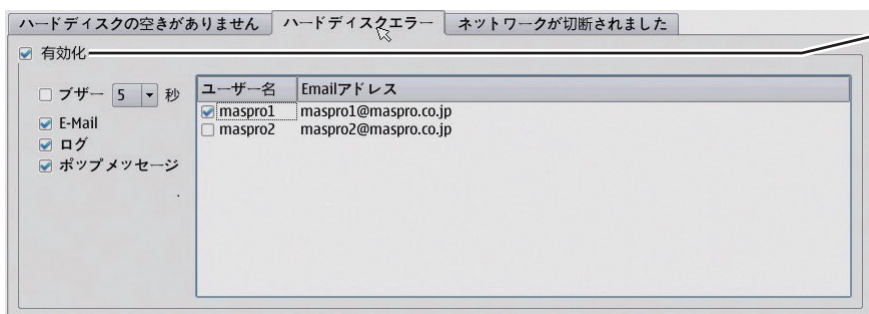
#### E-Mail

登録されているメールアドレスにメールを送信します。  
(送信先のアドレスにもチェックを入れます)

#### ログ

本機にログを保存します。

### ハードディスクエラー



ハードディスクにエラーが発生したときに、設定した条件を発報させる場合は、有効化にチェックを入れます。

#### ブザー

本機内蔵のブザーを鳴らす時間を設定します。

#### E-Mail

登録されているメールアドレスにメールを送信します。  
(送信先のアドレスにもチェックを入れます)

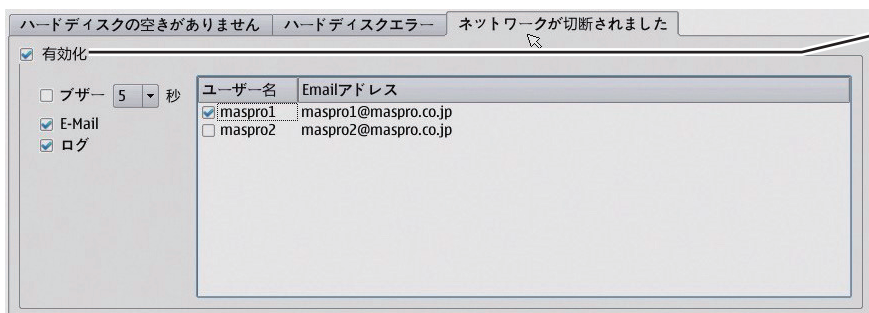
#### ログ

本機にログを保存します。

#### ポップメッセージ

ポップメッセージを表示します。

### ネットワークが切断されました



ネットワークが切断されたときに、設定した条件を発報させる場合は、有効化にチェックを入れます。

#### ブザー

本機内蔵のブザーを鳴らす時間を設定します。

#### E-Mail

登録されているメールアドレスにメールを送信します。  
(送信先のアドレスにもチェックを入れます)

#### ログ

本機にログを保存します。

## ログ

システム、NVR(本機)、イベントのログを確認することができます。

**システムログ**

日付	時間	情報
2024/04/04	17:21:50.257	User logout:anonymous
2024/04/04	17:21:49.789	User login:admin(Local)
2024/04/04	17:21:17.355	User logout:anonymous
2024/04/04	17:21:16.899	User login:anonymous(Local)
2024/04/04	17:21:14.322	User login:anonymous(Local)
2024/04/04	17:12:13.097	Power Outage 2024/04/04 17:10:00
2024/04/04	17:11:52.021	Power on
2024/04/04	16:06:33.996	Power Outage 2024/04/04 16:05:00

1 / 35

ダウンロード クエリー クリア

---

**NVRログ**

日付	時間	情報
2024/04/04	17:12:13.327	Recording start:admin(Local)
2024/04/04	17:01:47.877	Remote login:admin(192.168.10.104)
2024/04/04	16:07:43.643	Remote login:admin(192.168.10.104)
2024/04/04	16:06:34.276	Recording start:admin(Local)
2024/04/04	15:43:47.489	Recording start:admin(Local)
2024/04/04	15:43:07.421	Recording start:admin(Local)
2024/04/04	14:42:32.977	Recording start:admin(Local)
2024/04/02	08:10:48.454	Recording start:admin(Local)

1 / 13

ダウンロード クエリー クリア

---

**イベントログ**

日付	時間	情報
2024/04/04	14:46:28.000	CH04 Vloss
2024/03/28	19:14:41.000	CH01 Vloss
2024/03/28	11:50:25.000	CH01 Vloss
2024/03/27	12:04:22.000	CH01 Vloss
2024/03/27	09:27:18.000	CH01 Vloss
2024/03/25	18:23:33.000	CH05 Vloss
2024/03/25	18:23:31.000	CH04 Vloss
2024/03/25	18:23:29.000	CH03 Vloss

1 / 8

ダウンロード クエリー クリア

### ダウンロード

ハードディスクやメモリーにログを保存します。

●イベントログを出力する場合は、「AIイベントスケジュール」(p.37)でスケジュールを有効に設定する必要があります。

### クエリー

必要な情報だけを表示する場合に、必要ない項目のチェックを外します。

システムログフィルタ

すべて

タイプ

- ユーザーログイン
- ユーザーログアウト
- ユーザー変更
- ユーザー削除
- 電源オン
- 再起動
- シャットダウン
- デフォルトにシステムリセット
- システムファームウェア更新
- システムデバイスバック更新
- 日時の更新
- HDDエラー

OK キャンセル

NVRログフィルタ

すべて

タイプ

- 録音開始
- 録音停止
- リモートログイン
- リモートログアウト
- バックアップ開始
- バックアップ停止
- 記録エラー
- バックアップ失敗
- エクスポート開始
- エクスポート停止
- ノンオーバーライト
- 事前録画キューがいっぱいです

OK キャンセル

イベントログフィルタ

すべて

タイプ

- モーション
- 外部アラーム
- ビデオロス
- NVR外部アラーム
- Door Bell
- People Alarm
- AI Detection
- Sound Detection

OK キャンセル

### クリア

ログを消去します。

## 外部アラーム

本機では使用しません。

## ディスプレイと言語

**言語**

言語 日本語 ▼

---

**ディスプレイ**

デバイス名

解像度 1920×1080P60HZ ▼

自動スキャン間隔  秒.

---

**OSD**

カメラ名     カメラ番号

ビットレート     フレームレート

サイズ 18 ▼

カラー 白 ▼

太字     斜体

### 言語

画面で主に表示される言語を選択します。(デフォルト:日本語)

### ディスプレイ

本機に接続するディスプレイの設定をします。

#### デバイス名

本機(NVR)の名称を設定します。

#### 解像度

接続するディスプレイが対応している解像度に設定します。  
(デフォルト: 1920×1080P60HZ)

#### 自動スキャン間隔

解像度AUTO設定時の自動スキャン間隔を設定します。

**ご注意**

画面が表示されない場合は、解像度がFull HD以上のモニターをご使用ください。

### OSD

カメラ映像画面にOSD表示するときの項目と条件を設定します。

#### カメラ名、カメラ番号、ビットレート、フレームレート

カメラ名、カメラ番号、ビットレート、フレームレートで表示する項目にチェックを入れます。

#### サイズ

文字のサイズを設定します。

#### カラー

文字の色を設定します。

#### 太字、斜体

太字、斜体を選択します。



## ユーザーアカウント

グループボックス

ユーザー名	ライブ権限	再生権限	その他
admin	<input checked="" type="checkbox"/> CH01	<input checked="" type="checkbox"/> CH01	<input checked="" type="checkbox"/> 設定
maspro	<input checked="" type="checkbox"/> CH02	<input checked="" type="checkbox"/> CH02	<input checked="" type="checkbox"/> バックアップ
	<input checked="" type="checkbox"/> CH03	<input checked="" type="checkbox"/> CH03	
	<input checked="" type="checkbox"/> CH04	<input checked="" type="checkbox"/> CH04	
	<input checked="" type="checkbox"/> CH05	<input checked="" type="checkbox"/> CH05	
	<input checked="" type="checkbox"/> CH06	<input checked="" type="checkbox"/> CH06	
	<input checked="" type="checkbox"/> CH07	<input checked="" type="checkbox"/> CH07	
	<input checked="" type="checkbox"/> CH08	<input checked="" type="checkbox"/> CH08	
	<input checked="" type="checkbox"/> CH09	<input checked="" type="checkbox"/> CH09	
	<input checked="" type="checkbox"/> PTZコントロ...		
	<input checked="" type="checkbox"/> スピーカー		
	<input checked="" type="checkbox"/> マイクロフ...		

追加 削除

### 管理者ユーザーのパスワードを変更する場合

- ①「admin」をダブルクリックします。
  - パスワード編集画面が表示されます。
- ②新しいパスワードを入力して「編集」をクリックします。

#### ご注意

- 設定した「パスワード」は忘れることがないように管理してください。
- パスワードをリセットするには修理依頼が必要です。修理依頼すると完全に初期化されますから、事前に設定を保存することをお勧めします。  
(「システム」(p.46)をご覧ください)

### 新しいユーザーを追加する場合

- ①「追加」をクリックします。
  - 新しいアカウント設定画面が表示されます。
- ②ユーザー名とパスワードを設定して「追加」をクリックします。
  - 追加したユーザーをクリックすると、権限が選択できます。指定のカメラ番号の映像を見せたくない場合や、設定変更をさせたくない場合は、指定のカメラ番号と設定のチェックを外して、画面右下の「保存」をクリックします。

## システム

システム

システム再起動 再起動

システムシャットダウン シャットダウン

出荷時のデフォルト設定に復元します 復元

設定を保存します 保存

設定を読み込みます 参照 起動

アイドルタイム(分)  (0: オフ)

ブザー  オン  オフ

自動ログインを有効にします:

自動再起動を有効にします 日曜日 時間  :

表示モード  モニター表示モード  NASモード

Quad Mode  Main Stream  Sub Stream

Network Self Test Mode  有効化  無効化

### システム再起動

「再起動」をクリックして、システム再起動します。

### システムシャットダウン

「シャットダウン」をクリックして、システムシャットダウンします。

### 出荷時のデフォルト設定に復元します

「復元」をクリックして、出荷時のデフォルト設定に復元します。

●ネットワーク構成以外の設定を初期化します。

### 設定を保存します

「保存」をクリックして、バックアップ用のハードディスクやメモリーに設定を保存します。

### 設定を読み込みます

「参照」をクリックして、保存した設定ファイルを選択し、「起動」をクリックします。

### アイドルタイム(分)

設定した時間で自動的にログアウトします。自動的にログアウトしない場合は「0」に設定してください。(デフォルト: 0)

### ブザー

本機の内蔵ブザーを使用しない場合は、オフを選択します。(デフォルト: オン)

- カメライベント設定、システムイベント設定で、発報時にブザーを鳴らす場合は、オンを選択してください。
- 電源投入時、再起動時のブザー音を停止することはできません。

### 自動ログインを有効にします

電源起動時に設定したユーザーで自動ログインする場合にチェックを入れます。(デフォルト: 無効)

### 自動再起動を有効にします

指定した曜日の時間に再起動させる場合にチェックを入れます。(デフォルト: 有効)

#### ご注意

- USB端子にバックアップ用ハードディスクなどを接続している場合は、再起動した後に、バックアップ画面のUSB情報でハードディスク名が表示されていることを確認してください。
- ハードディスクが表示されていない場合は、USBケーブルを抜差ししてください。

### 表示モード

本機のモニター出力端子ON/OFFの設定をします。(デフォルト: モニター表示モード)

モニター表示モード: HDMI出力端子やVGA出力端子からモニターに接続して使用する場合に選択します。

NASモード: ブラウザーからのみで使用する場合に選択します。

### Quad Mode

「Main Stream」を選択すると、4画面表示の場合でもメインストリームで表示されます。

9画面表示の場合は、サブストリームとなります。(デフォルト: Sub Stream)

### Network Self Test Mode

「有効化」を選択すると、カメラとの通信に異常が発生したときや、正常に録画できなくなったときなどに再起動します。

(デフォルト: 無効化)

## 時間と日付

### 時間と日付

手動で日付、日付形式、時間を設定します。

日付と時刻を手動で設定します

日付  日付形式

時間  :  :

### NTPサーバー

NTPサーバーと同期

NTPサーバー  <<

- 0.north-america.pool.ntp.org
- NTPサーバーを選択
- 0.north-america.pool.ntp.org
- pool.ntp.org
- tw.pool.ntp.org
- 0.jp.pool.ntp.org
- tock.stdtime.gov.tw
- time.google.com
- 192.168.1.100

#### NTPサーバーと同期

NTPサーバーと同期させる場合にチェックを入れます。(デフォルト：無効)

#### NTPサーバー

NTPサーバーを右のリストから選択します。

### タイムゾーン

タイムゾーン

#### タイムゾーン

標準時刻に対する時差の設定をします。[デフォルト：(GMT+09:00)Tokyo]

### サマータイム

サマータイムを有効化

自動サマータイム

サマータイムを手動設定

	月	週	曜日	時	分
開始時間	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1 (最初)"/>	<input type="text" value="日曜日"/>	<input type="text" value="00"/>	<input type="text" value="00"/>
終了時間	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1 (最初)"/>	<input type="text" value="日曜日"/>	<input type="text" value="00"/>	<input type="text" value="00"/>
補正	<input type="text" value="+1:00"/>				

#### サマータイムを有効化

サマータイムを使用する場合はチェックを入れます。(デフォルト：無効)

#### 自動サマータイム

サマータイムが導入されている地域に合わせて、自動的に設定します。

#### サマータイム手動設定

サマータイムの期間を設定します。

## ファームウェア更新

### ファームウェア情報

プラグインのバージョン: 20231129\_v2.0.1.5  
 NVRファームウェアバージョン: V1.0.10.72M-11704(711)  
 ファームウェア日付: 2024-03-25  
 NVRデバイスパック: V1.1.0-2175  
 デバイスパック日付: 2024-03-25  
 Uブートバージョン: U-Boot 2010.06 (Jun 27 2019 - 15:33:22)  
 カーネルバージョン: 1 SMP Wed Jul 14 16:23:07 CST 2021  
 Raid IC Version:

ファームウェア/デバイスパックパス: 
[参照](#)
[アップデート](#)

### NVRファームウェアバージョン

現在のファームウェアバージョンを表示します。

ファームウェアを更新する場合は「参照」をクリックして、バックアップ用のハードディスクやメモリーに保存されているアップデートするファームウェアを選択します。

「アップデート」をクリックし、確認画面で「OK」をクリックして、アップデートを開始します。

●最新のファームウェア情報については、下記マスプロホームページをご覧ください。

<https://www.maspro.co.jp/support/prod/sc/>

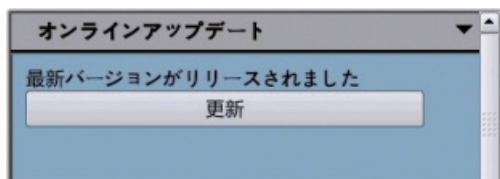
**ご注意** 故障の原因となりますから、アップデート中は本機(NVR)の電源は絶対に切らないでください。

### オンラインファームウェア更新

自動確認  
[バージョンを確認する](#)

#### 自動確認

ネットワークに接続している場合は、「自動確認」にチェックを入れることで自動的にサーバーを確認して、最新ファームウェアがあれば、サイドメニューの最上段に「オンラインアップデート」が表示されます。



「更新」をクリックすると、最新ファームウェアに更新されます。

#### バージョンを確認する

クリックすると、最新バージョンがあるか確認します。

##### 《最新ファームウェアがある場合》

「最新バージョンがリリースされました。ファームウェアを更新してもよいですか?」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリックすると、最新ファームウェアに更新されます。

##### 《最新ファームウェアがない場合》

「すでに最新のファームウェアです」のメッセージが表示されます。

**ご注意** 故障の原因となりますから、更新中は本機(NVR)の電源は絶対に切らないでください。

## ハードドライブ

### ストレージドライバ情報

バックアップ用のハードディスクやメモリーをUSB端子に接続した場合に、接続したデバイスを表示します。

	Family	モデル	容量	S.M.A.R.T	スロット
<input type="checkbox"/>	WDC	WD22PURZ-74B4ZY0	2.0 TB	情報	HDD
<input checked="" type="checkbox"/>	Logitec	LHD USB Device	2.0 TB	情報	USB

注意: テキストの色が赤の場合、ディスクはフォーマットが必要です

フォーマット

バックアップ用として使用する場合は、接続したデバイスにチェックを入れて「フォーマット」をクリックし、確認画面で「OK」をクリックして、フォーマットを開始します。(最大2TB)

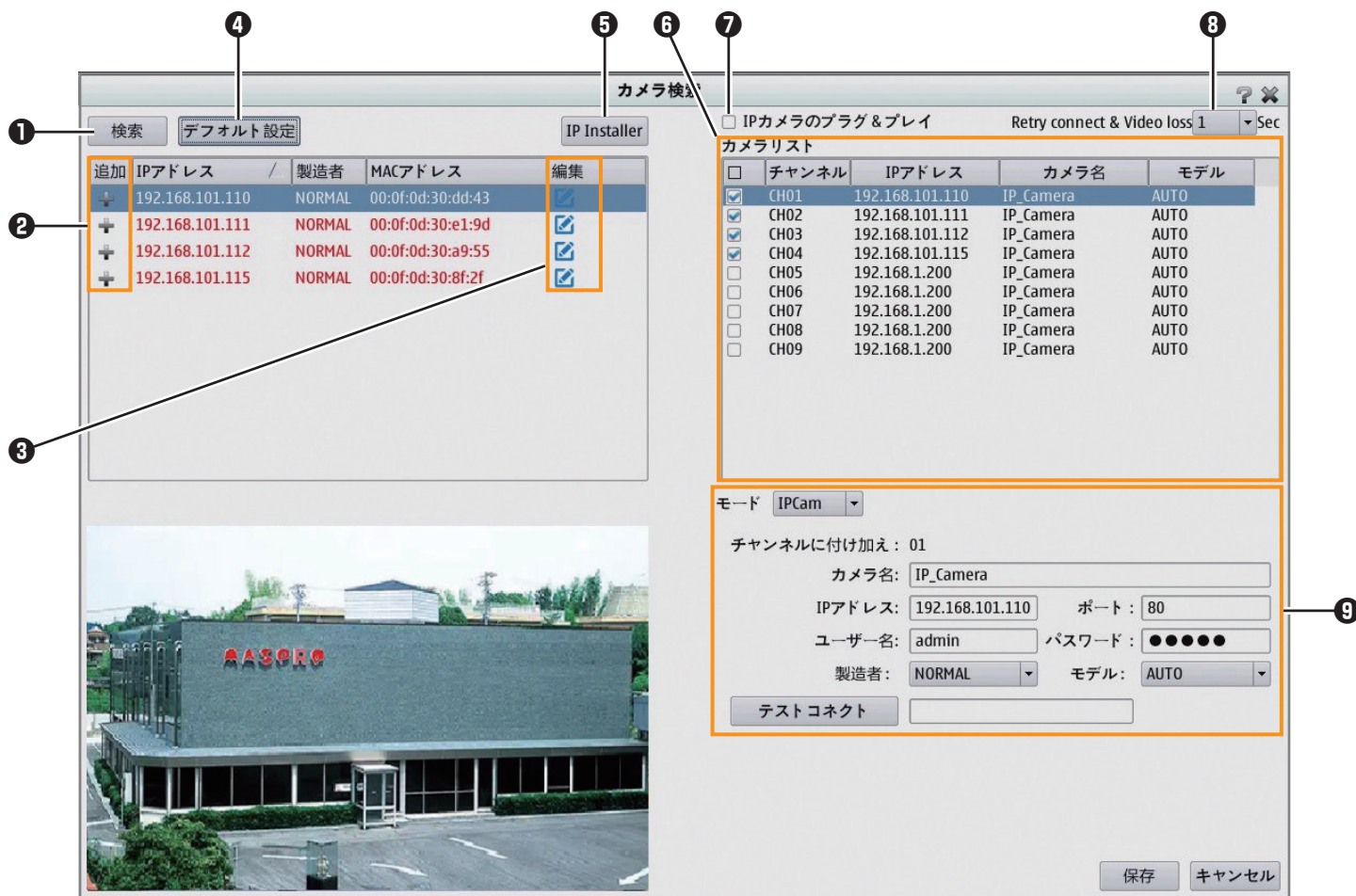
**ご注意** 故障の原因となりますから、フォーマット中は本機(NVR)の電源は絶対に切らないでください。

## ジョイスティック

本機では使用しません。

## RS485

本機では使用しません。



カメラ検索画面

## ① 検索

クリックすると、本機(NVR)のPoEポートに接続しているカメラと本機のWAN側の同一ネットワークに接続されているカメラがすべて表示されます。

●TS5シリーズ以外のカメラは表示されません。

## ② 追加

本機のWAN側に接続されているカメラのIPアドレスの左にある  をクリックすると、カメラリストに追加されます。本機のポートに接続しているカメラは自動的にカメラリストに登録されますが、登録されていない場合は、カメラリストのチャンネル番号をクリックしてから  をクリックして登録してください。

## ③ 編集

IPアドレスの右にある  アイコンをクリックすると、カメラの登録情報を変更できます。

## ④ デフォルト設定

クリックすると、デフォルトアカウントの設定を変更できます。

## ⑤ IP Installer(p.51)

クリックすると、IP Installer画面を表示します。

## ⑥ カメラリスト

カメラリストに登録されているカメラにチェックを入れると、本機からカメラ映像を表示します。

●カメラリストに登録されてチェックが入っているカメラは、左枠のリストでは赤色で表示されます。

## ⑦ IPカメラのプラグ&プレイ

チェックを入れると、本機のWAN側に接続されている同一ネットワーク内のカメラを、自動的にカメラリストに登録します。

●カメラリストに登録されているカメラの「モード: IP\_Cam設定」を行う場合は、チェックを外してください。

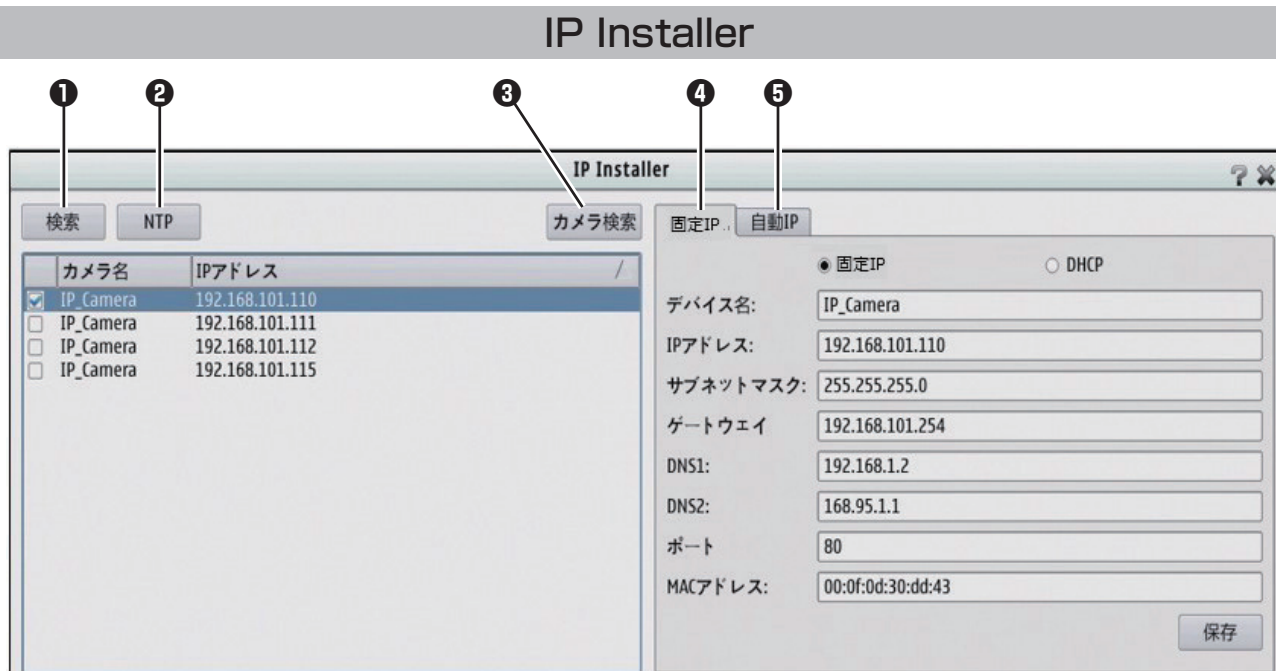
## ⑧ Retry connect & Video loss

カメラの接続が切れた場合に、再接続するまでのインターバル時間を設定します。

## ⑨ モード(p.52)

カメラリストで選択しているカメラのIP\_Cam、ROI、RTSP、EasyLinkの設定をすることができます。

設定を変更したら、画面右下の「保存」をクリックします。



IP Installer画面

### ① 検索

クリックすると、本機(NVR)のPoEポートに接続しているカメラと、本機のWAN側の同一ネットワークに接続されているカメラがすべて表示されます。

●TS5シリーズ以外のカメラは表示されません。

### ② NTP

カメラ名のチェックボックスにチェックを入れて「NTP」をクリックすると、カメラの時刻が本機の時刻と同期します。

### ③ カメラ検索

クリックすると、カメラ検索画面に戻ります。

### ④ 固定IP

固定IPタブ選択時に、カメラにチェックを入れて、固定IPまたはDHCPを選択して「保存」をクリックすると、カメラのネットワーク設定を変更することができます。

### ⑤ 自動IPタブ

自動IPタブ選択時に、すべてのカメラにチェックを入れて「保存」をクリックすると、すべてのカメラがアドレス範囲で自動的にIPアドレスが割り当てられます。

設定を変更したら、画面右下の「保存」をクリックします。

## モード

カメラリストで選択しているカメラのIP\_Cam、ROI、RTSP、EasyLinkの設定をすることができます。

### IP\_Cam

本機(NVR)のWAN側に接続されているカメラの設定変更、および接続テストをすることができます。

チャンネルに付け加え： 01

カメラ名:

IPアドレス:     ポート:

ユーザー名:     パスワード:

製造者:     モデル:

#### カメラ名

カメラ名を変更することができます。

#### IPアドレス

本機のWAN側に接続されている固定IPカメラのIPアドレス設定を変更することができます。\*

#### ポート

本機のWAN側に接続されているカメラのポート設定を変更することができます。\*

#### ユーザー名

本機のWAN側に接続されている固定IPカメラのユーザー名を変更することができます。\*

#### パスワード

本機のWAN側に接続されている固定IPカメラのパスワードを変更することができます。\*

#### 製造者

本機のWAN側にTS5シリーズ以外の製品を接続して使用する場合に選択します。

- 製造メーカーとモデルの登録がある場合は選択することで作動します。
- 製造メーカーとモデルの登録が無い場合は「ONVIF」を選択することで作動することもあります。

#### モデル

「製造者」で製造メーカーを選択した場合に、登録するカメラの型式を選択します。

#### テストコネクト

カメラとの接続テストをします。

\*PoEポートに接続されているカメラは、設定を変更しないでください。

### ROI

任意のカメラ番号のデジタルズーム画面を表示させることができます。

#### 《設定例》

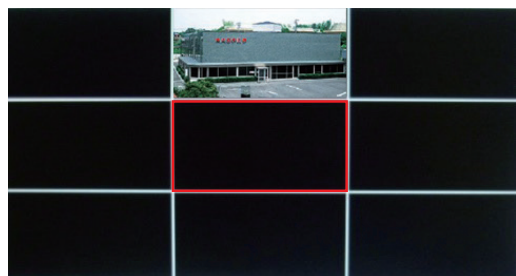
①分割画面でデジタルズーム画面を設定する枠を選択します。(中央を選択)

②モードからROIを選択すると、設定画面が表示されます。

アタッチチャンネル：デジタルズーム画面を表示したいカメラを選択します。(カメラ2を選択)

比率：1、4、9、16から拡大サイズを選択します。(4を選択)

カメラ検索画面の子画面を見ながら、枠をクリックアンドドラッグで位置を選択し「保存」をクリックします。



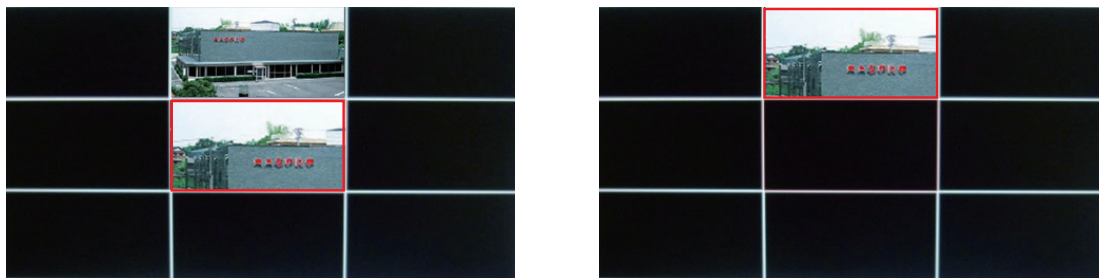
チャンネル

アタッチチャンネル

比率

③ 選択した画面が中央に表示されます。

● 設定する枠を中央上部にすることで、カメラ画面をデジタルズーム画面にすることもできます。



● 他社製品のカメラはROI設定できません。

### RTSP

TS5シリーズ以外のカメラをストリーミングメディアプレーヤーからRTSP接続して、カメラ映像を見ることができます。

チャンネルに付け加え : 01

カメラ名:	<input type="text" value="IP_Camera"/>		
IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.101.110"/>	RTSPポート	<input type="text" value="554"/>
ユーザー名:	<input type="text" value="admin"/>	パスワード:	<input type="password" value="●●●●●"/>
RTSPパス1	<input type="text"/>		
RTSPパス2	<input type="text"/>		

TS5シリーズ以外のカメラのRTSPパス設定を確認し、2つのストリームの対応する値を「RTSPパス1」と「RTSPパス2」に入力します。

カメラのサブストリーム解像度がVGA以外の場合は警告メッセージが表示されます。

### EasyLink

スマートフォンなどのIPmotionアプリから、本機のWAN側の外部ネットワークに接続されているカメラのライブ映像を本機で見るときに設定します。

(例: 東京に設置したカメラ映像を、名古屋に設置した本機のカメラ映像画面を見るときなどに設定)

チャンネルに付け加え : 01

クイックリンク	<input type="text"/>		
ユーザー名:	<input type="text" value="admin"/>	パスワード:	<input type="password" value="●●●●●"/>

#### クイックリンク

カメラのシステム情報に表示されるEasyLink IDを入力します。

● 詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

#### ユーザー名

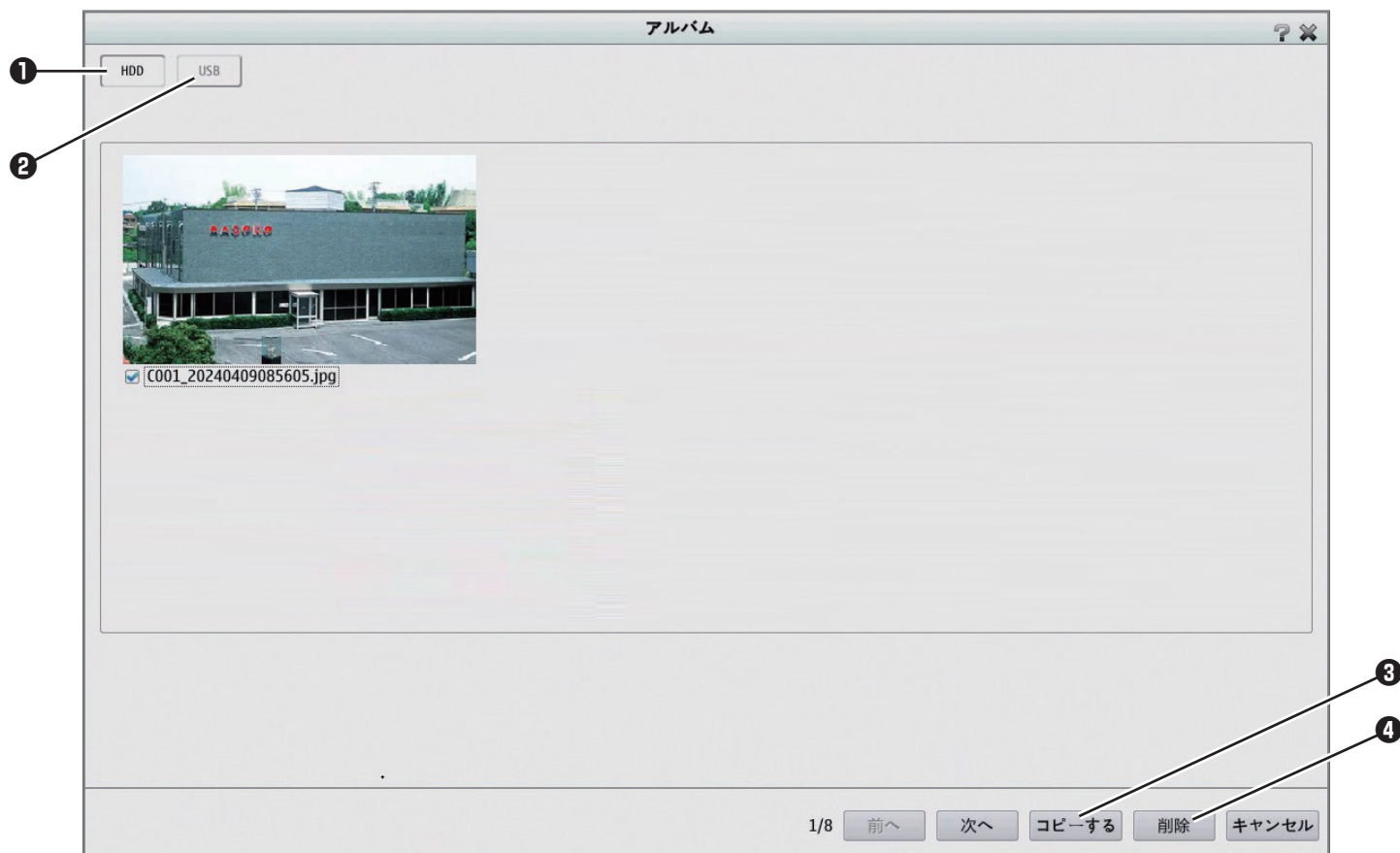
カメラのユーザー名を設定します。

#### パスワード

カメラのパスワードを設定します。

● EasyLinkはカメラ1～5まで設定することができます。

撮影したスナップショットを見ることができます。



### ① HDD

本機のアルバム画面に戻ります。

### ② USB

USBをクリックすると、バックアップ用ハードディスクやメモリーに保存した画像を見ることができます。

### ③ コピーする

バックアップ用ハードディスクやメモリーに画像を保存する場合は、保存したい画像にチェックを入れて、「コピーする」をクリックして保存します。

### ④ 削除

削除したい画像にチェックを入れて「削除」をクリックします。

## 自動バックアップ

毎日指定した時間に、設定した直近の開始時間から終了時間までの録画データを保存します。

自動バックアップ
手動バックアップ

自動バックアップを有効化  Enable Over Write  
 毎日のバックアップ時間  :   
 開始時間  :   
 終了時間  :   
 すべて  
 カメラ 

CH01

CH02

CH03

CH04

CH05

CH06

CH07

CH08

CH09

  
 バックアップタイプ  USB  サーバー  FTP  
 File type  AVI  MKV  
 Stream Type  Main Stream  Sub Stream  

停止

バックアップ状態: 動作していません

※ 外部からNVRに接続すると、バックアップ動作が非常に遅くなりますのでご注意ください。(例:CMS, IE...)

### 自動バックアップを有効化

自動でバックアップする場合はチェックを入れます。

### Enable Over Write

保存領域が足りなくなった時に上書き保存する場合はチェックを入れます。

### 毎日のバックアップ時間

バックアップを開始する時間を設定します。

**ご注意** システム設定で自動再起動を有効にしている場合は、再起動が優先されます。再起動時間と被らないように設定してください。

### 開始時間

バックアップする録画データの開始時間を設定します。

### 終了時間

バックアップする録画データの終了時間を設定します。

### カメラ

バックアップする録画データのカメラ番号を設定します。

### バックアップタイプ

録画データのバックアップタイプを設定します。

### File type

バックアップする録画データのFile typeを設定します。

### Stream Type

バックアップする録画データのStream Typeを設定します。

### 停止

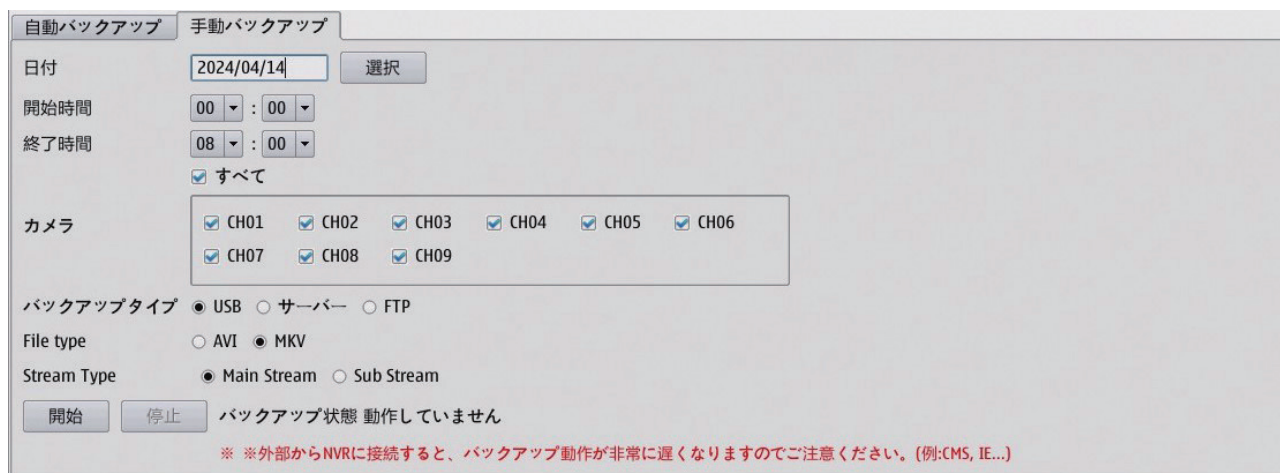
バックアップ途中に中止する場合にクリックして停止します。

設定した内容で自動的に録画データを保存します。

**ご注意** Windows OS標準のプレイヤーでは、再生できないことがあります。再生できない場合は、WebサイトからVLC media playerをダウンロードして再生してください。

## 手動バックアップ

過去の日付の指定した開始時間から終了時間までの録画データを保存します。



### 日付

「選択」をクリックしてカレンダーからバックアップしたい日付を選択します。

### 開始時間

バックアップする録画データの開始時間を設定します。

### 終了時間

バックアップする録画データの終了時間を設定します。

### カメラ

バックアップする録画データのカメラ番号を設定します。

### バックアップタイプ

録画データのバックアップタイプを設定します。

### File type

バックアップする録画データのFile typeを設定します。

### Stream Type

バックアップする録画データのStream Typeを設定します。

### 開始

クリックすると、設定した内容で自動的に録画データを保存します。

### 停止

バックアップ途中で中止する場合にクリックして停止します。

- 詳細に映像を切り出してバックアップしたい場合は、「プレイバック検索」(p.13)をご覧ください。

### で注意

Windows OS標準のプレイヤーでは、再生できないことがあります。  
再生できない場合は、WebサイトからVLC media playerをダウンロードして再生してください。

スマートフォンにアプリをダウンロードして、本機(NVR)を使用できるようにします。

ご注意

IPmotionは汎用アプリのため、仕様が予告なく変更されることがあります。

iPhoneの場合(2025年6月現在) ●操作方法は端末により異なることがあります。

## 1. アプリをインストールする

- ① ホーム画面にある、「App Store」をタップします。  
● App Storeが表示されます。



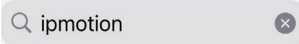
タップ

- ② 「検索」をタップし、検索バーに「ipmotion」と入力し、アプリを検索します。



検索

タップ



- ③ 「入手」をタップした後、スマートフォンの指示に従って、アプリをインストールします。



IPmotion  
ユーティリティ

入手

タップ

- ④ インストールが完了すると、アイコンがホーム画面に作成されます。



IPmotion

## 2. 利用するための設定をする

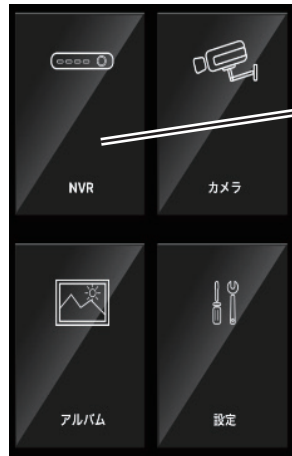
- ⑤ ホーム画面の「IPmotion」をタップします。



タップ

IPmotion

- ⑥ 「NVR」をタップします。



タップ

- ⑦ 「カメラ追加」をタップします。



タップ

- ⑧ 「P2P」をタップします。

- ⑨ 「QRアイコン」をタップして、本機のサイドメニューの「イーージーリンク」(p.11)に表示されている、QR codeを読取ります。  
● UUIDにカメラのIDが登録されます。

- ⑩ 「カメラ名」にNVRの名前を設定します。

- ⑪ 「保存」をタップします。



⑨ タップ

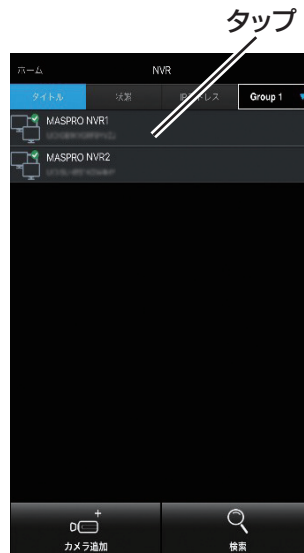
⑩ 名前を設定

⑪ タップ

⑧ タップ

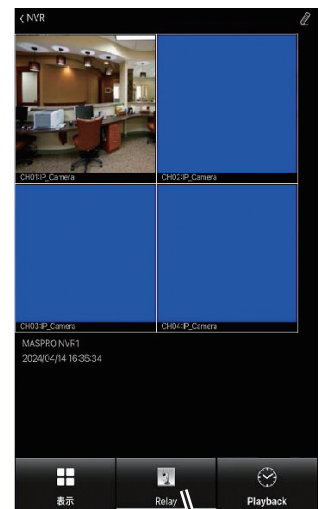
- ⑫ ネットワーク接続の状態が、接続済になるのを待ちます。

- ⑬ 接続済になったら、NVRをタップします。



タップ

- ⑭ 映像が表示されます。



本機では使用しません。

Androidの場合(2025年6月現在) ●操作方法は端末により異なることがあります。

## 1. アプリをインストールする

- ①ホーム画面にある、「Playストア」をタップします。  
●Google Playストアが表示されます。



- ②「検索」をタップし、検索バーに「ipmotion」と入力し、アプリを検索します。



- ③「IPmotion」をタップし、「インストール」をタップします。  
●アプリのインストールを開始します。

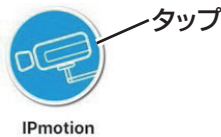


- ④インストールが完了すると、アイコンがホーム画面に作成されます。



## 2. 利用するための設定をする

- ⑤ホーム画面の「IPmotion」をタップします。



- ⑥「NVR」をタップします。



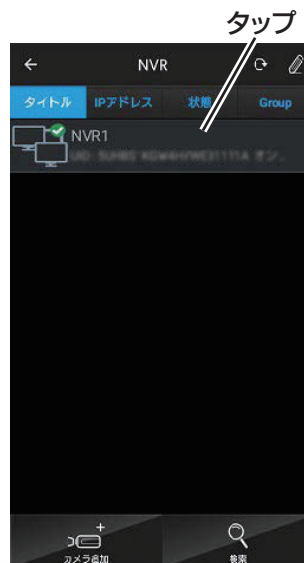
- ⑦「カメラ追加」をタップします。



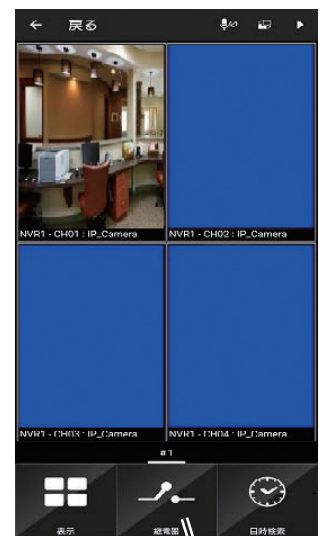
- ⑧「P2P」をタップします。  
⑨「QRアイコン」をタップして、本機のサイドメニューの「イージーリンク」(p.11)に表示されている、QR codeを読取ります。  
●EasyLink IDにカメラのIDが登録されます。  
⑩「カメラ名」にカメラの名前を設定します。  
⑪「保存」をタップします。



- ⑫ネットワーク接続の状態が、接続済になるのを待ちます。  
⑬接続済になったら、NVRをタップします。

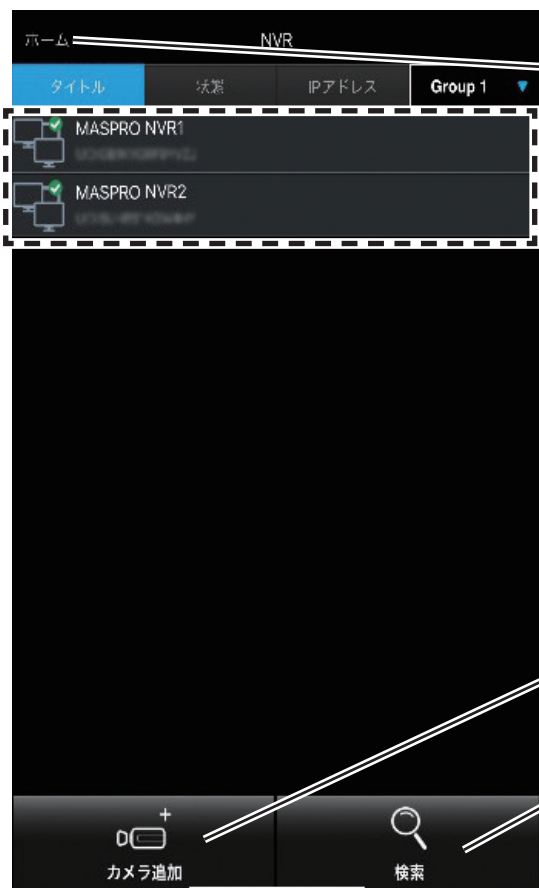


- ⑭映像が表示されます。



本機では使用しません。

### 《NVR一覧画面》



メニュー画面に戻る

NVR一覧

- 登録されているNVRを、一覧で表示します。
- 任意のNVRを指で押したまま左にスライドすると、「NVRの編集」、「NVRの削除」が行えます。
- タップするとカメラ映像画面に切り替ります。

NVRを追加する

NVRを検索する

ネットワーク内のNVRを検索します。

### 《カメラ映像画面》



操作画面を非表示にする

「切換」、「解像度」、「Play back」を非表示にします。

映像表示部

カメラで撮影した映像を表示します。  
アタッチチャンネルは表示されません。

本機では使用しません

現在の画像を保存する

現在の映像を静止画としてスマートフォンに保存します。

映像を録画する

カメラに取り付けられたSDカードに短いビデオを録画します。

ズーム・フォーカスを調整する

PTZ対応カメラのみ表示します。

**ご注意** AIの検知エリアが設定されている場合は、再設定が必要です。

NVRに保存された映像を確認する

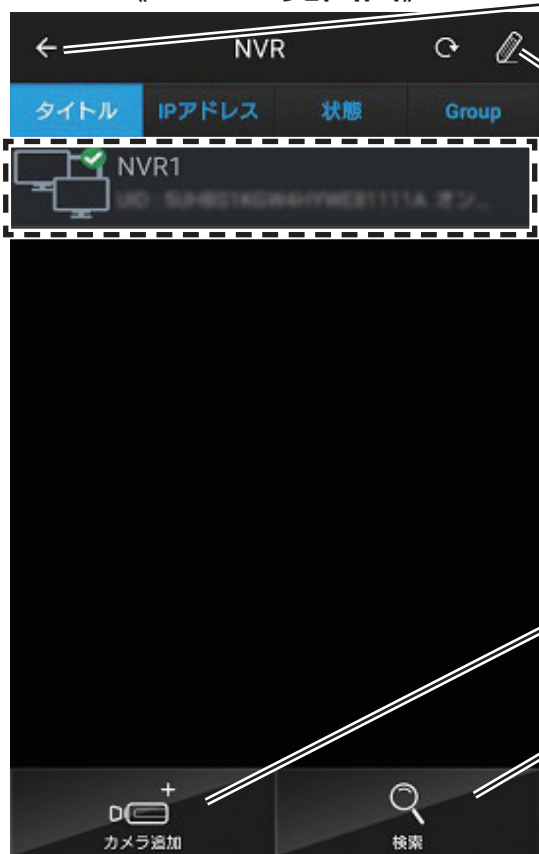
解像度を切替える

カメラを切替える

複数台カメラを登録時に、映像を表示するカメラの選択・切替えをします。

**ご注意** AIエリアは表示されません。

### 《NVR一覧画面》



メニュー画面に戻る

カメラの編集・削除をする

NVR一覧

- 登録されているNVRを、一覧で表示します。
- 任意のNVRを指で押したまま左にスライドすると、「NVRの編集」、「NVRの削除」が行えます。
- タップするとカメラ映像画面に切り替えます。

カメラを追加する

NVRを検索する

ネットワーク内のNVRを検索します。

### 《カメラ映像画面》



映像表示部

カメラで撮影した映像を表示します。  
アタッチチャンネルは表示されません。

本機では使用しません

現在の画像を保存する

現在の映像を静止画としてスマートフォンに保存します。

映像を録画する

カメラに取り付けられたSDカードに短いビデオを録画します。

ズーム・フォーカスを調整する

PTZ対応カメラのみ表示します。

**ご注意** AIの検知エリアが設定されている場合は、再設定が必要です。

カメラを切替える

複数台カメラを登録時に、映像を表示するカメラの選択・切換えをします。

**ご注意** AIエリアは表示されません。

NVRに保存された映像を確認する

解像度を切替える

項目	規格	
	TS5-R8P	TS5-R4P
ビデオ部		
録画	映像圧縮方式	H.264+/H.264
	録画解像度	8M/7M/6M/5M/4M/3M/2M/1.5M/1M/512k/256k
	フレームレート	5～30fps
	録画モード	常時録画/スケジュール録画/イベント録画/モーション録画
	検知前後録画	検知前3or5秒/検知後5～300秒
表示画面	画面解像度	HDMI端子 最大4K/VGA端子 最大1080P
	画面モード	1、4、6、9画面分割 / 1、4画面分割
再生	再生速度	×1、×2、×4、×8、×16、×32、×64倍
	同時再生	8チャンネル / 4チャンネル
	再生モード	タイムライン検索/イベントリスト検索/スマート検索
インターフェース部		
映像入力端子	RJ-45×8	RJ-45×4
映像出力端子	HDMI/VGA	
ネットワーク端子	RJ-45×1	
USB端子	USB2.0×3	USB2.0×2
ネットワーク部		
プロトコル	HTTP/DHCP/DDNS/SMTP/UPNP/P2P	
ブラウザ	Microsoft Edge (IEモード)	
モバイル	iOS 9.0以降/ Android 5.0以降	
対応OS	Windows10/Windows11	
同時アクセスユーザー	最大10ユーザー	
一般		
バックアップ	外付けハードディスク/ USB2.0 フラッシュメモリ	
使用温度範囲	0～+40℃	
電源	AC100V	ACアダプター
消費電力	最大95W(140VA)	最大45W(73VA)
外観寸法	50(H)×360(W)×305(D)mm	49(H)×230(W)×216(D)mm
質量(重量)	約2.8kg (ハードディスク1台) 約3.4kg (ハードディスク2台)	約1.6kg

## マスコプロ電工

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談  **0570-091119**

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます  
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**  
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット [www.maspro.co.jp](http://www.maspro.co.jp)

- 製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。
- 最新情報は、当社ホームページをご覧ください。